Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-SX

serato || serato DJ

http://pioneerdj.com/support/

上記のPioneerDJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

http://serato.com/

最新版のSerato DJ ソフトウェアはSerato.com にアクセスしてダウンロードしてください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  この冊子と「ご使用の前に（重要）/ クイックスタートガイド」はどちらも必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
  Serato DJ のソフトウェアマニュアルの入手方法については、「マニュアルを入手する」(p.30) をご覧ください。
- 本書では、製品本体およびコンピュータ画面に表示される画面名、メニュー名、ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例：[**CUE**] ボタン、[**Files**] パネル、[**MIC1**] 端子)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ ソフトウェアの操作については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- Serato DJ のソフトウェアマニュアルは、「Serato.com」からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.30) をご覧ください。
- 最新版の取扱説明書 (本書) は、Pioneer サポートサイトからダウンロードできます。詳細については、「最新版の取扱説明書をダウンロードする」(p.30) をご覧ください。

01 はじめに

本機の特長 3
付属品を確認する 4
AC アダプターについて 4
ソフトウェアをインストールする 5
ドライバソフトウェアおよび設定ユーティリティソフトウェアについて 7

02 接続および各部の名称

接続する 8
各部の名前とはたらき 10

03 操作する (基本編)

接続する 15
システムを起動する 17
システムを終了する 20

04 操作する (応用編)

パフォーマンスパッドを使う 21
スリップを使う 22
DUAL DECK モードを使う 23
チャンネルフェーダースタート機能を使う 24
SAMPLER VELOCITY を使う 24
曲を解析する 24
ユーティリティ設定 24
外部入力を使う 27

05 その他

故障かな？と思ったら 28
ブロックダイヤグラム 30
マニュアルを入手する 30
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する 31
保証とアフターサービス 31
商標および登録商標について 32
著作権についてのご注意 32

はじめに

本機の特長

本機は、高い操作性で多くのプロ DJ から高い評価を得ている当社 DJ 機器と Serato 社製 DJ ソフトウェア「Serato DJ」を組み合わせたオールインワン DJ システムです。本機は、「Serato DJ」の操作に最適な操作インターフェースを搭載しています。各インターフェースは大型ボディに余裕をもって配置しているので、「Serato DJ」の各機能を直感的、かつ確実に操作することができます。また、サウンドカードを内蔵しておりますので、コンピュータを USB ケーブル 1 本で接続することができます。

「BIG JOG」&「ON JOG DISPLAY」

スムーズな操作性の大型 JOG を搭載しています。アナログターンテーブル感覚でスクラッチ演奏をお楽しみいただけます。また、JOG 中央部に楽曲の再生状態や現在の再生位置を表示する「ON JOG DISPLAY」を搭載しています。アナログレコードの盤面を見る感覚で JOG の操作をできます。

「PERFORMANCE PADS」

「Serato DJ」に搭載されている「HOT CUE」、「ROLL」、「SLICER」、「SAMPLER」の 4 つの機能を叩く、連打する等のダイナミックなアクションで操作できる、大型の「PERFORMANCE PADS」を搭載しました。パッドの素材にラバーを採用していますので、長時間のプレイでも疲れず操作することができます。「SAMPLER」モード使用時は、4 種類のベロシティカーブから好みのカーブを選択することができ、強弱のついた抑揚のある演奏ができます。

「4-CHANNEL MIXER」

「Serato DJ」に搭載されている 4 つのデッキで再生した楽曲を、それぞれ独立してミックス操作できる「4-CHANNEL MIXER」を搭載しています。4 つの楽曲を同時にミックスすることで、より個性的な DJ ミックスをすることができます。

Professional Build Quality & Design

トップパネル、および JOG プレートにアルミ素材を採用することで、堅牢で高級感のあるデザインに仕上げました。クラブ、ホームパーティなどのシーンで、DJ パフォーマンスを演出します。また、各ノブ、およびパッドはラバー素材を採用することで高級感だけでなく、高い操作性も実現しました。

「Serato DJ」Supported

DJ プレイに必要な数々の機能を搭載した DJ ソフトウェア「Serato DJ」に対応しています。本機のすべてのボタンやツマミは、あらかじめソフトウェアと連動するよう設定されていますので、本機をコンピュータにつなぐだけですぐに DJ プレイを楽しめます。また Serato 社協力のもと、「DUAL DECK CONTROL」機能および「SLIP」機能を共同開発しました。

「DUAL DECK CONTROL」

2 つのデッキで演奏中の 2 曲を、1 つのプレーヤインターフェースで同時に操作することができます。あたかも 1 つの楽曲であるかのようにスクラッチや「HOT CUE」などのプレーヤ機能を使った演奏パフォーマンスをすることができます。

「SLIP MODE」

LOOP/SCRATCH/HOT CUE 等のプレイ中にバックグラウンドで音楽が進み続ける「SLIP MODE」機能を搭載。これにより、LOOP/SCRATCH/HOT CUE 等のプレイ後でも原曲の展開を変えることなく DJ パフォーマンスすることができます。

Flexible Connectivity

CD プレーヤーやアナログターンテーブルなどを接続できる外部入力を 4 系統備えてます。本機の「4-CHANNEL MIXER」はスタンドアローンでも動作するので、コンピュータを介さずに外部入力の音をミックスできます。その他にも、MIC 入力を 2 系統備えています。また出力にはプロ用の PA 機器にも対応できるよう、MASTER OUT を 2 系統 (XLR 端子× 1 系統、RCA 端子× 1 系統)、BOOTH OUT を 1 系統を搭載しています。あらゆるパーティシーンや DJ プレイスタイルに対応することができます。

「LEVEL METER」

ミキサー部の中央にマスターレベルメーター、各チャンネルの操作インターフェース直近にチャンネルレベルメーターを配置しました。各チャンネルのレベルを操作する本機上で把握でき、より快適な DJ プレイを実現します。

「NEEDLE SEARCH」

タッチパッドを指で触れるだけで、タッチしたポイントを瞬時にサーチすることができます。直接楽曲に触れる感覚で直感的、かつスピーディーなサーチを実現します。

HIGH SOUND QUALITY

オーディオ出力回路には、低ジッタークロック、および高性能 DAC を採用しており、原音を忠実に再現しクリアなクラブサウンドを実現しました。また、当社プロフェッショナルシリーズで培った音質技術を用いることで、DJ コントローラとして業界最高水準の高音質を実現しています。

付属品を確認する

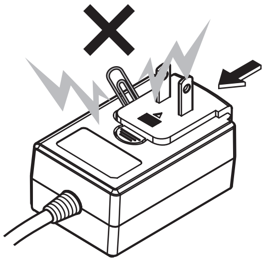
- CD-ROM (インストールディスク)
- AC アダプター
- 電源プラグ [1]
- USB ケーブル
- 保証書 (一部の地域)[2]
- ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド

[1] 同梱されている電源プラグの数は地域によって異なります。
[2] 日本向け、欧州向け製品のみ。(北米向け製品は「ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド」の巻末に該当内容が記載されています。)

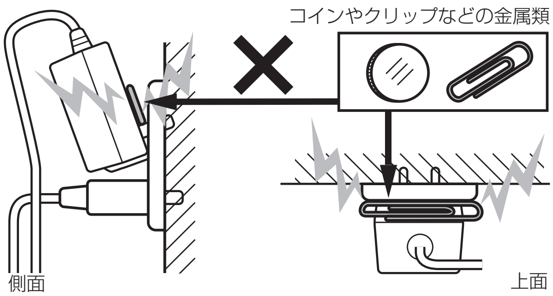
AC アダプターについて

使用上のご注意

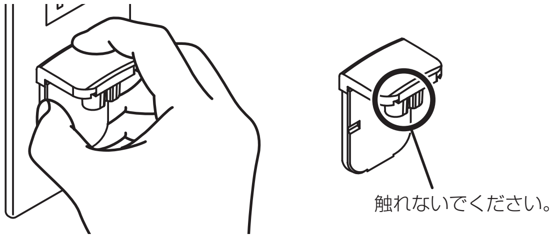
- ほこりの多い場所や、高温･多湿の場所では使用しないでください。
- 振動や衝撃が加わらないようにしてください。
- 異物や水が入らないよう注意してください。
- 不安定な場所や高いところに置かないようにしてください。落下して怪我の原因になることがあります。
- AC アダプターや電源プラグに異常がないことを確認し、電源プラグを AC アダプターの所定の位置に所定の方法でカチリと音がするまで押し込んでください。詳しくは、4ページ の「電源プラグを取り付ける」をご覧ください。
- 必ず、指定した電源に接続してください。
- 本 AC アダプターと接続した機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
- 内部点検や改造はおやめください。
- ご使用中に本機から異常な音やにおいがしたときは、必ず電源を切ってから、点検を受けてください。
- 本機の外観の清掃は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を水で 5 ～ 6 倍に薄め、柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコール、殺虫剤等の揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので、使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- AC アダプターや電源プラグに異常があったときは、裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。
- AC アダプターと電源プラグの間に、コインやクリップなどの金属が挟まった状態で使わないでください。ショートし、火災や感電の原因になります。



- AC アダプターを壁のコンセントに取り付けるとき、AC アダプターと壁のコンセントの間に隙間ができないようにしてください。接触不良や隙間にコインやクリップなどの金属が入ってショートし、火災や感電の原因になります。

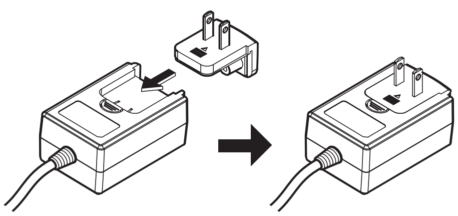


- AC アダプターの電源コードに足が絡まったり、AC アダプターに物がぶつかったりすると、電源プラグが AC アダプターから外れて、コンセントに残ってしまうことがあります。残ってしまった電源プラグは、乾いた手で金属部に触れずに下図のように持って取り外してください。取り外すとき、工具は使わないでください。



電源プラグを取り付ける

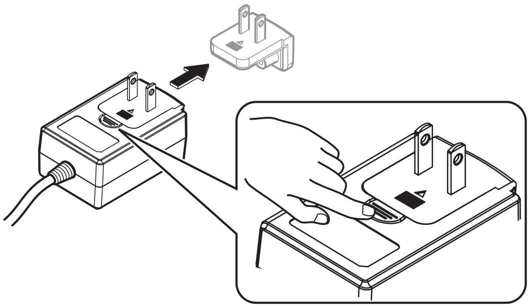
AC アダプター本体のガイドレールに沿って下図のように電源プラグをスライドさせ、カチリと音がするまで押し込む



❖ 電源プラグを取り外す

AC アダプター本体の [PUSH] ボタンを押しながら、下図のように電源プラグをアダプターからスライドさせて取り外す

一度、電源プラグを取り付けたあとは、取り外す必要はありません。



ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする前に

最新版のSerato DJソフトウェアはSerato.comにアクセスしてダウンロードしてください。付属のCD-ROMにも、ソフトウェアのダウンロードリンクが収録されています。
- 詳細は「「インストール手順 (Windows)」」または「「インストール手順 (Mac OS X)」」を参照してください。
- インターネットの接続に必要なコンピュータ、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用ASIOドライバです。
- Mac OS Xをお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記のPioneer DJサポートサイトを参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

Serato DJソフトウェアについて

Serato DJはSerato社製のDJソフトウェアです。このソフトをインストールしたコンピュータと本機を接続してDJプレイを楽しむことができます。

最低動作環境

対応OS		CPUおよび必要メモリー
Mac OS X:10.6.8、10.7.4、10.8	32ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.0 GHz以上
		1 GB以上のRAM
	64ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.4 GHz以上
		4 GB以上のRAM
Windows: Windows 7	32ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.0 GHz以上
		2 GB以上のRAM
	64ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.4 GHz以上
		4 GB以上のRAM

その他	
光学ドライブ	CD-ROMの読み込みが可能な光ディスクドライブ
USBポート	コンピュータと本機を接続するためにUSB2.0ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1 280 x 720以上の解像度
インターネット接続	「Serato.com」のユーザーアカウントの登録やソフトウェアのダウンロードのため、インターネット接続環境が必要です。

- 最新の動作環境、互換性、および最新のOSシステムを取得するには、下記のPioneer DJサポートサイトの「**DDJ-SX**」の「**ソフトウェア対応情報**」を参照してください。
  http://pioneerdj.com/support/
- 記載の動作環境をみたしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPUやハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングでSerato DJをお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

インストール手順について

お客様がお使いになるコンピュータのオペレーティングシステム (OS) により、インストールの手順が異なります。

Windowsのとき

ドライバソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJソフトウェアのインストールを行ってください。

Mac OS Xのとき

Serato DJソフトウェアのインストールのみ行ってください。

インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とコンピュータを接続しないでください。

- コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。
- コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。

1 CD-ROMをコンピュータの光学ドライブに挿入する

CD-ROMのメニューが表示されます。
- CD-ROMを挿入してもCD-ROMのメニューが表示されないときは、[**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROMのメニューが表示されたら、[ドライバソフトウェア (Pioneer_DDJ_SX_Driver_x.xxx.exe) をインストールする] を選んで [開始] をクリックする

- CD-ROMのメニューを終了させるときは、[**終了**] をクリックしてください。

3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [**Windowsセキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。
インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。
ドライバソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJソフトウェアのインストールを行ってください。

4 CD-ROMのメニューの [Serato DJをダウンロードする] を選んで [開始] をクリックする

5「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」が表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

6 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SX] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

[**サポート情報**] が表示されます。

7 Serato DJのダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJのダウンロードページが表示されます。

8「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は手順10にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  — 画面の指示にしたがって、E-mailアドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
  — [**E-mail me Serato newsletters**] にチェックを入れると、Serato社からのニュースレターが送信され、Serato社製品の最新情報を入手できます。
  — ユーザーアカウント登録が完了すると、入力したE-mailアドレスにE-mailが送信されますので、「Serato.com」から送信されたE-mailの内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様のe-mailアドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意くだ

さい。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。

- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

9「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする

Serato DJ のダウンロードページ進みます。手順 11 にお進みください。

10 ログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

11 ダウンロードページから、Serato DJ ソフトウェアをダウンロードする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラが起動します。

12 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [I agree to the license terms and conditions] を選択し、[Install] をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [**Close**] をクリックしてインストールを中止してください。

インストールが始まります。

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

13 [Close] をクリックして Serato DJ インストーラーを終了させる

インストール手順 (Mac OS X)

インストールが完了するまでは、本機とコンピュータを接続しないでください。

- コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。

1 CD-ROM をコンピュータの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても画面上に CD-ROM のメニューが表示されないときは、Finder で光学ドライブを開いてから [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューの [Serato DJ をダウンロードする] を選んで [開始] をクリックする

3「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」が表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SX] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

[**サポート情報**] が表示されます。

5 Serato DJ のダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJ のダウンロードページが表示されます。

6「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は手順 8 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  - — 画面の指示にしたがって、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
  - — [**E-mail me Serato newsletters**] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報を入手できます。
  - — ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の e-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

7「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする

Serato DJ のダウンロードページ進みます。手順 9 にお進みください。

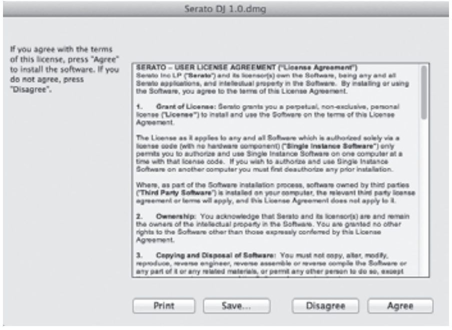
8 ログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

9 ダウンロードページから、Serato DJ ソフトウェアをダウンロードする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラが起動します。

10 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [Agree] をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [**Disagree**] をクリックしてインストールを中止してください。

11 下記の画面が表示されたら、[Serato DJ] アイコンを [Applications] フォルダアイコンにドラッグアンドドロップする

ドライバソフトウェアおよび設定ユーティリティソフトウェアについて

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

設定ユーティリティソフトウェアを使う

この機能は OS に Windows をお使いのお客様のみご利用頂けます。

❖ 設定ユーティリティソフトウェアを起動する

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ_SX]>[DDJ_SX ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする

❖ バッファサイズを調整する

Serato DJ ソフトウェアのバッファサイズの設定と同じように [**カーネルバッファ数**] の設定値は値を小さくすると音声データの伝送遅延 (レンテンシー) が小さくなり、大きくすると音声データの脱落 (音とぎれ) が発生しにくくなります。
バッファサイズは、Serato DJ ソフトウェアの [**SETUP**] メニュー内の [**USB BUFFER SIZE (LATENCY)**] での設定値が優先されます。(デフォルト設定は 512 samples/10 ms になっています。)

- DJ ソフトウェア側の設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- [**バッファサイズ**] または [**カーネルバッファ数**] の数値を大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

❖ デフォルト設定で音切れが発生している場合

1 [DDJ_SX ASIO 設定ユーティリティ] を起動して [カーネルバッファ数] を [4] に変更する

2 Serato DJ ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定する

❖ デフォルト設定で音切れが発生していない場合

1 Serato DJ ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定する

2 [DDJ_SX ASIO 設定ユーティリティ] を起動して [カーネルバッファ数] を [2] に変更し、音切れが発生していないかを確認する

3 音切れが発生しない場合は Serato DJ ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定し、音切れが発生した場合は [DDJ_SX ASIO 設定ユーティリティ] の [カーネルバッファ数] を [3] に変更します

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ_SX]>[DDJ_SX バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピュータに接続されていないとき、または本機とコンピュータが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

接続および各部の名称

接続する

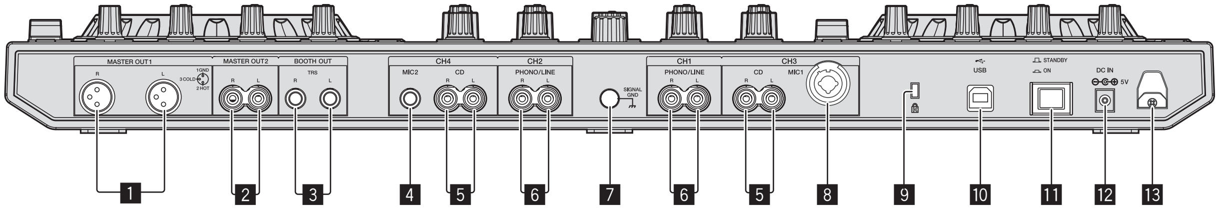
- AC アダプターは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
  機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。
  接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- AC アダプターは必ず本製品に付属のものをお使いください。
- 本機は AC アダプターで電源が供給されます。
- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、AC アダプターをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、AC アダプター (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、AC アダプター (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

各部の名称

❖ 本体背面部



1 MASTER OUT 1 端子

パワードスピーカーなどを接続します。
- XLR コネクター型のバランス出力に対応しています。

2 MASTER OUT 2 端子

パワーアンプなどを接続します。
- RCA ピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

3 BOOTH 端子

ブースモニター用出力端子です。TRS 端子のため、バランス出力、アンバランス出力に対応しています。
マスターチャンネルに設定された音声レベルと関係なく、マスターチャンネルの音声を [**BOOTH**] 端子から出力できます。
- アンバランス出力時にレベルを上げすぎると音声が歪みます。

4 MIC2 端子

マイクを接続します。
- 本体前面の [**INPUT SELECT**] スイッチを [**MIC2**] に設定しておく必要があります。

5 CD 端子

DJ プレーヤーなどのラインレベルの出力機器と接続します。
- 本体前面の [**INPUT SELECT**] スイッチを [**CD**] に設定しておく必要があります。

6 PHONO/LINE 入力端子

アナログプレーヤーなどのフォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器、または DJ プレーヤーなどのラインレベルの出力機器を接続します。接続する機器に応じて、本機前面の [**INPUT SELECT**] スイッチで端子の機能を切り換えられます。

7 SIGNAL GND 端子

アナログプレーヤーのアース線と接続します。アナログプレーヤー接続時の雑音低減を図ります。

8 MIC1 端子

マイクを接続します。
- 本体前面の [**INPUT SELECT**] スイッチを [**MIC1**] に設定しておく必要があります。
- XLR コネクターまたはフォーンプラグ (ø 6.3 mm) のどちらでもご使用になれます。

9 ケンジントンロック装着用穴

10 USB 端子

コンピュータと接続します。
- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

11 STANDBY/ON スイッチ

本機の電源をオン / スタンバイにします。

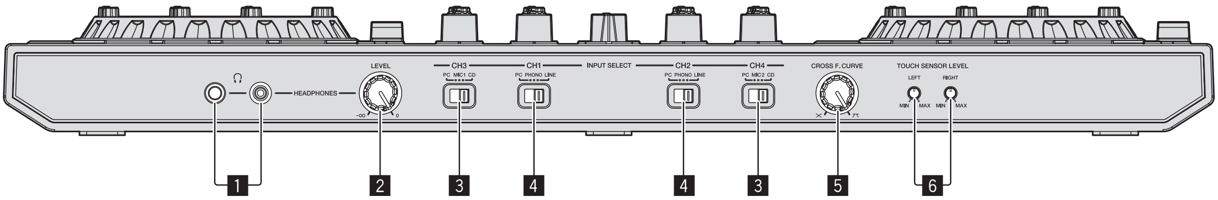
12 DC IN 端子

付属の AC アダプター (電源プラグを装着した状態) を使ってコンセントと接続します。
- AC アダプターは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
- 必ず付属の AC アダプターをお使いください。

13 コードフック

AC アダプターの電源コードおよび USB ケーブルを引っ掛けて使います。
- 再生中に AC アダプターや USB ケーブルが抜けると音声が途切れます。

❖ 本体前面部



1 PHONES 端子
ヘッドホンを接続します。
ステレオフォーンプラグ (Ø 6.3 mm) とステレオミニフォーンプラグ (Ø 3.5 mm) に対応しています。
- ステレオフォーンジャックとミニフォーンジャックの 2 つの入力端子がありますが、同時に使用しないでください。同時に使用すると片方の端子を抜き差しする際に、もう片方の音量が急に増減する場合があります。

2 HEADPHONES LEVEL ツマミ
[**PHONES**] 端子から出力される音声レベルを調整します。
- ツマミを本体側に押し込むと収納できます。もう一度押すと出てきます。

3 INPUT SELECT スイッチ
本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを切り換えます。
— [**PC**]：Serato DJ ソフトウェア上のデッキにロードされたトラックを使うときに選択します。
— [**MIC1**] または [**MIC2**]：[**MIC1**] 端子または [**MIC2**] 端子に接続しているマイクを使うときに選択します。
— [**CD**]：[**CD**] 端子に接続した DJ プレーヤーなどのラインレベル出力機器を使うときに選択します。
— [**PHONO**] に切り換えた時は音声が約 3 秒間ミュートされます。

4 INPUT SELECT スイッチ
本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを切り換えます。
— [**PC**]：Serato DJ ソフトウェア上のデッキにロードされたトラックを使うときに選択します。
— [**PHONO**]：[**PHONO/LINE**] 入力端子に接続したアナログプレーヤーなどのフォノレベル（MM カートリッジ用）の出力機器を使うときに選択します。
— [**LINE**]：[**PHONO/LINE**] 入力端子に接続した DJ プレーヤーなどのラインレベル出力機器を使うときに選択します。

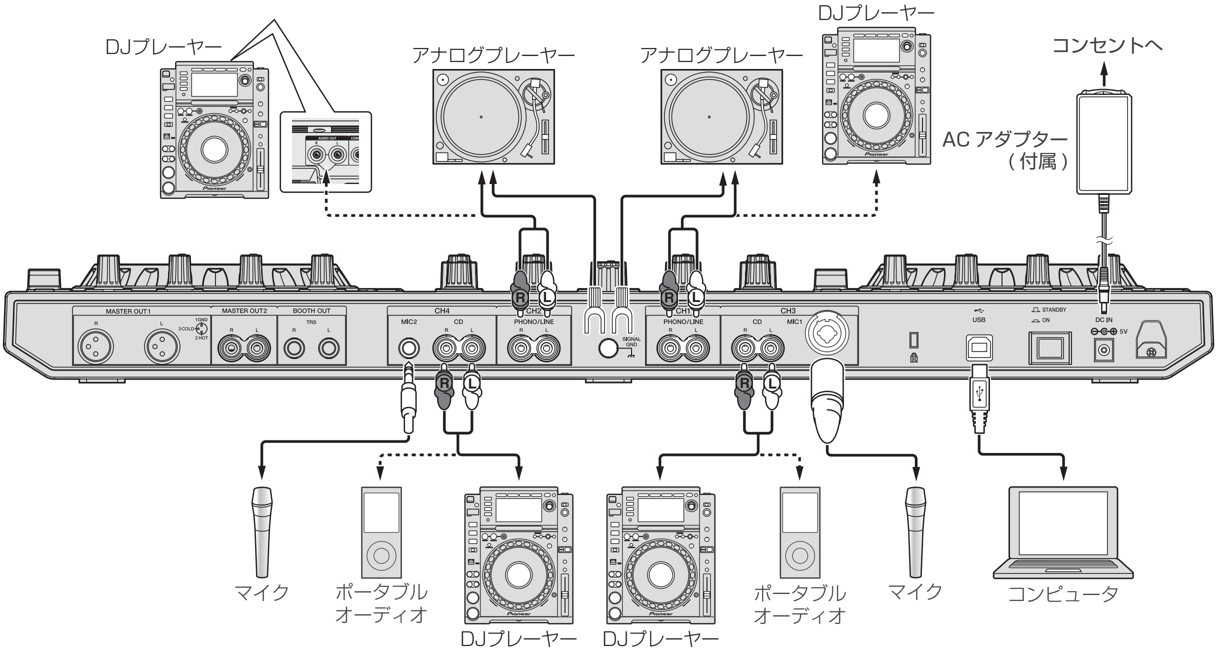
5 クロスフェーダーカーブ切換ツマミ
クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。
- ツマミを右に回すほど、急峻に立ち上がるカーブになります。
- ツマミを左に回すほど、徐々に立ち上がるカーブになります。
- ツマミを本体側に押し込むと収納できます。もう一度押すと出てきます。

6 TOUCH SENSOR LEVEL ツマミ
ジョグダイアルのタッチセンサー感度を調整します。

入力 / 出力端子に接続する

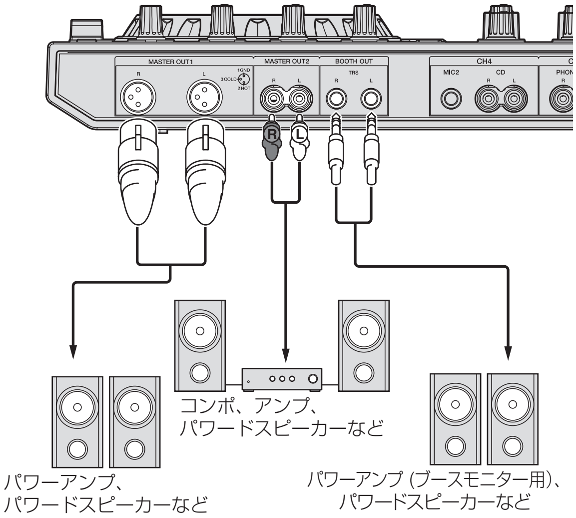
❖ 入力端子に接続する

本体背面部

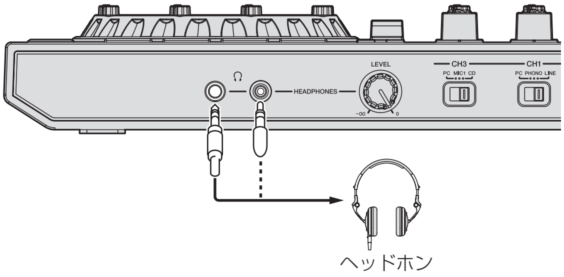


❖ 出力端子に接続する

本体背面部



本体前面部

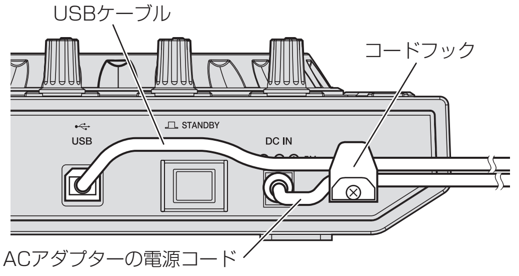


コードフック

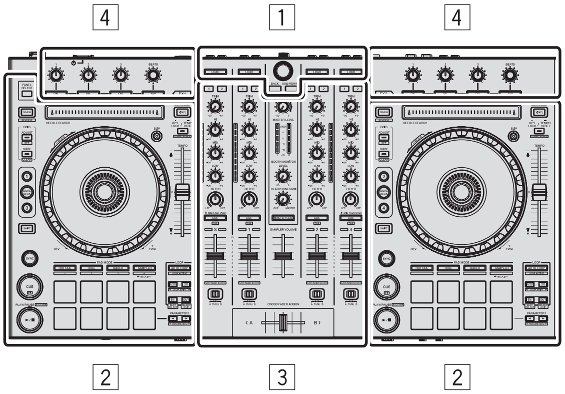
コードフックの上側に AC アダプターの電源コード、下側に USB ケーブルを引っ掛ける

AC アダプターの電源コードおよび USB ケーブルは、コードフックに引っ掛けることで固定されます。電源コードや USB ケーブルを誤って引っ張り、プラグが端子から抜けてしまうことを防げます。

- AC アダプターの電源コードの根本を折り曲げた状態で固定しないでください。曲げたまま固定して使い続けると、電源コードが断線して接触不良を起こす場合があります。
- 再生中にACアダプターやUSBケーブルが抜けると音声が途切れます。



各部の名前とはたらき



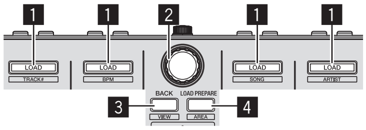
1 ブラウザ部

2 デッキ部

3 ミキサー部

4 エフェクト部

ブラウザ部



1 LOAD ボタン

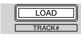
押す：

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

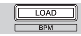
- [**LOAD**] ボタンを 2 回押すと、反対側の選択されているデッキにロードされているトラックを、[**LOAD**] ボタンが押されたデッキにロードします。トラックが再生中のときは同じ位置から再生されます。(インスタントダブル)

[**SHIFT**] + 押す：

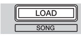
各 [**LOAD**] ボタンを押すと、ライブラリのトラックリストをソートします。



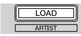
: トラックナンバーでソートします。



: BPM でソートします。



: 曲名でアルファベット順にソートします。



: アルバムでソートします。

2 ロータリーセレクター

回す：

ライブラリや [**CRATES**] パネルのカーソルが上下に移動します。

押す：

ロータリーセレクターを押すたびに [**CRATES**] パネルをライブラリの間でカーソルが移動します。

[**CRATES**] パネル内の選択中の項目に SUB CRATES があれば、その CRATES を展開または省略します。

- 本機能 (SUB CRATES を含んだ CRATES の展開または省略) は、Serato DJ ver. 1.0 では本機からのコントロールができません。将来のバージョンアップにて対応予定です。

[**Files**] パネル内のカーソルが下位階層へ移動します。

[**Browse**] パネル内のカーソルが次のカテゴリへ移動します。

- [**CRATES**] パネルについては、「楽曲をインポートする」(p.18) をご覧ください。

3 BACK ボタン

押す：

ボタンを押すたびに [**CRATES**] パネルをライブラリの間でカーソルが移動します。
[**Files**] パネル内のカーソルが上位階層へ移動します。
[**Browse**] パネル内のカーソルが前のカテゴリへ移動します。

[**SHIFT**] + 押す：
Serato DJ のレイアウトを切り換えます。

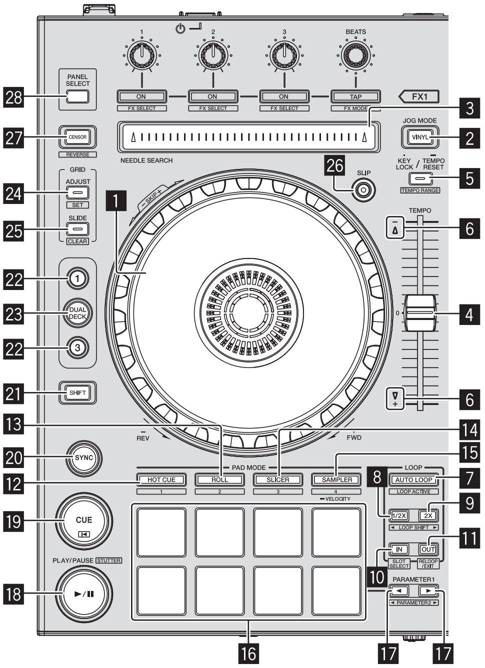
4 LOAD PREPARE (AREA) ボタン

押す：
[**Prepare**] パネルにトラックをロードします。

[**SHIFT**] + 押す：
ボタンを押すごとにパネル表示を切り換えます。
パネル表示オフ ➡ **Files** ➡ **Browse** ➡ **PREPARE** ➡ **History** ➡ パネル表示オフに戻る

デッキ部

4 つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ 1 およびデッキ 3、コントローラー右側にデッキ 2 およびデッキ 4 を操作するツマミやボタンがあります。



1 ジョグダイヤル

天面を回す：
VINYL モードがオンのとき、スクラッチ操作ができます。
VINYL モードがオフのとき、ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。

外周部を回す：
ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。
[**SHIFT**] + 天面を回す：
ビートに同期して再生位置がスキップします。 (SKIP モード)

- SKIP モードはビートグリッドが設定されていない楽曲ではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

2 VINYL ボタン

VINYL モードをオン / オフします。

3 NEEDLE SEARCH パッド

パッドにタッチすることで、デッキにロードされているトラックの任意の位置にジャンプします。

4 TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

5 KEY LOCK ボタン

押す：
キーロック機能をオン / オフします。
キーロック機能がオンのとき、[**TEMPO**] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。
音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。

[**SHIFT**] + 押す：
押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲が切り換わります。

→[**±8%**]→[**±16%**]→[**±50%**]

1 秒以上押す：
再生中のトラックのテンポ (BPM) をトラックのオリジナルテンポに戻します。

6 TAKEOVER インジケーター

SYNC 機能がオフ状態でデッキを切り替えたときに、コントローラーの [**TEMPO**] スライダーの位置とソフトウェアのテンポ（ピッチ) が一致しない場合があります。再びテンポをコントローラーで制御するようにするには、[TAKEOVER] インジケータを目安に調整します。まず、[TAKEOVER] インジケーターが点灯する方向へゆっくりと [**TEMPO**] スライダーを移動させます。[TAKEOVER] インジケータが消灯する位置まで移動させると、ソフトウェアのテンポ (ピッチ) と一致し、再び [**TEMPO**] スライダーで制御することができます。

7 AUTO LOOP ボタン

押す：
オートループをオン / オフします。

- ループ再生中、この操作でループを解除します。

[**SHIFT**] + 押す：
ループのアクティブ状態 / 非アクティブ状態を切り換えます。
(ループアクティブ)

- ループをアクティブ状態に設定しても、そのループ内に再生位置がないとループ再生しません。
- アクティブ状態のループ内に再生位置が入るとループ再生します。
- ループ再生中、この操作でループを解除します。

8 LOOP 1/2X ボタン

押す：
オートループの拍を選択します。
ループ再生中、ボタンを押すたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループ再生中､ループがその長さ分だけ左方向へ移動します。(ループシフト)

9 LOOP 2X ボタン

押す：
オートループの拍を選択します。
ループ再生中、ボタンを押すたびにループ再生の長さが倍に延長されます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループ再生中､ループがその長さ分だけ右方向へ移動します。(ループシフト)

10 LOOP IN ボタン

押す：
ループインポイントが設定されます。
ループ再生中にこのボタンを押すと、ジョグダイヤルを使ってループインポイントを微調整できます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループスロットが切り換わります。 (ループスロット)
ループスロットにあらかじめループを保存しておくことによって、ループをあとで呼び出すことができます。

- ループスロットは最大 8 個までループを設定できます。
- 保存したいループスロット番号を選択して、ループを設定するとループが自動的に保存されます。
- ループを保存したあとで再度ループを設定するとループは上書き更新されます。

- 呼び出したいループスロット番号を選択して、[**SHIFT**] ボタンを押しながら **LOOP OUT** ボタンを押す（リループ）と、保存されていたループ再生が始まります。

⑪ LOOP OUT ボタン
押す：
ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。
ループ再生中にこのボタンを押すと、ジョグダイヤルを使ってループアウトポイントを微調整できます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループ再生を解除します。（ループイグジット）
ループ再生を解除したあと、前回設定したループインポントに戻りループ再生を再開します。（リループ）

⑫ HOT CUE モードボタン
押す：
HOT CUE モードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。
- 機能拡張については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
  http://pioneerdj.com/support/

⑬ ROLL モードボタン
押す：
ROLL モードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。
- 機能拡張については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
  http://pioneerdj.com/support/

⑭ SLICER モードボタン
押す：
SLICER モードに設定します。
- ボタンを押すごとに、SLICER モード 1/SLICER モード 2 を切り換えます。
- SLICER モードを解除するには、[**ROLL**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン、[**HOT CUE**] モードボタンのいずれかのボタンを押します。

[**SHIFT**] + 押す：
将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。
- 機能拡張については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
  http://pioneerdj.com/support/

⑮ SAMPLER モードボタン
押す：
SAMPLER モードに設定します。

1 秒以上押す：
SAMPLER VELOCITY モードをオン / オフします。
- SAMPLER VELOCITY モードについて、詳しくは 24ページの「SAMPLER VELOCITY を使う」をご覧ください。

[**SHIFT**] + 押す：
将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。
- 機能拡張については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
  http://pioneerdj.com/support/

⑯ パフォーマンスパッド
「ホットキュー」、「ループロール」、「スライサー」、「サンプラー」をコントロールします。
➲「パフォーマンスパッドを使う」(p.21)

⑰ PARAMETER◀ ボタン、PARAMETER▶ ボタン
「ループロール」、「スライサー」、「サンプラー」のパラメーターを設定します。
➲「パフォーマンスパッドを使う」(p.21)

⑱ PLAY/PAUSE ▶/II ボタン
押す：
トラックを再生 / 一時停止します。

[**SHIFT**] + 押す：
テンポラリーキューポイントに戻って再生を続けます。（スタッター）

⑲ CUE ボタン
押す：
テンポラリーキューポイントを設定、再生、呼び出しします。
- 一時停止中に [**CUE**] ボタンを押すとテンポラリーキューポイントを設定します。
- 再生中に [**CUE**] ボタンを押すとテンポラリキューポイントに戻り、一時停止します。（バックキュー）
- テンポラリーキューポイントに戻ったあとに [**CUE**] ボタンを押し続けると、ボタンを押し続けているあいだ再生を続けます。（キューサンプラー）
- キューサンプラー中に [**PLAY/PAUSE ▶/II**] ボタンを押すとそのまま続けて再生します。

[**SHIFT**] + 押す：
トラックリストの中の 1 つ前のトラックをロードします。（プレビアス トラック）
- 現在の再生位置がトラックの先頭でないときは、トラックの先頭に戻ります。

⑳ SYNC ボタン
押す：
複数のデッキのトラックとテンポ（ピッチ）およびビートグリッドを自動で合わせることができます。

[**SHIFT**] + 押す：
SYNC を解除します。

㉑ SHIFT ボタン
[**SHIFT**] ボタンを押しながら他のボタンを押すと別の機能を呼び出せます。

㉒ DECK ボタン
操作するデッキを切り換えます。

㉓ DUAL DECK ボタン
DUAL DECK モードをオン / オフします。
➲「DUAL DECK モードを使う」(p.23)

㉔ GRID ADJUST ボタン
押す：
[**GRID ADJUST**] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すと、ビートグリッド間隔を調整できます。

[**SHIFT**] + 押す：
ビートマーカーを設定します。(GRID SET)
- ビートマーカーは複数箇所に設定できます。

㉕ GRID SLIDE ボタン
押す：
[**GRID SLIDE**] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すと、ビートグリッド全体を左または右にスライドさせることができます。

[**SHIFT**] + 押す：
ビートマーカーを消去します。(GRID CLEAR)

㉖ SLIP ボタン
スリップモードをオン / オフします。
➲「スリップを使う」(p.22)

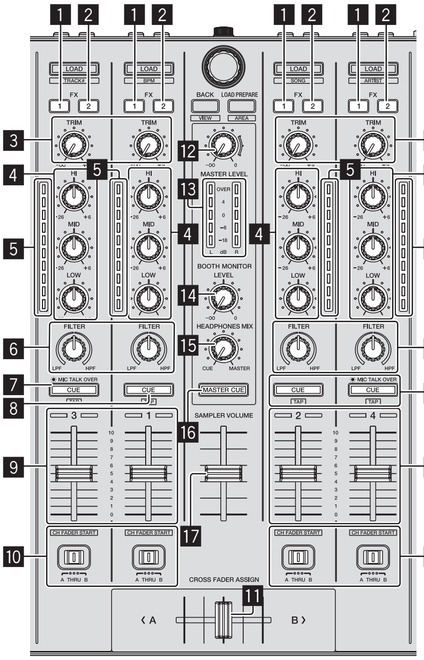
27 CENSOR ボタン
押す：
[**CENSOR**] ボタンを押しているあいだ逆方向に再生し、ボタンから手を離すと通常の再生に戻ります。
- 逆再生中もバックグランドで通常の再生を続け、ボタンから手を離すとバックグランドで進んだ位置から再生します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
逆方向に再生します。もう一度、[**SHIFT**] ボタンと [**CENSOR**] ボタンを押すと、逆再生を解除して通常の再生に戻ります。

28 PANEL SELECT ボタン
押す：
ボタンを押すごとに以下の順序でパネル表示を切り換えます。
パネル表示オフ ➡ [**REC**]パネル ➡ [**FX**]パネル ➡ [**SP-6**]パネル ➡ パネル表示オフに戻る

[**SHIFT**] ＋ 押す：
ボタンを押すごとに以下の順序でパネル表示を切り換えます。
パネル表示オフ ➡ [**SP-6**]パネル ➡ [**FX**]パネル ➡ [**REC**]パネル ➡ パネル表示オフに戻る
- Serato-Video をインストールし [**SETUP**] メニューで有効になっている場合、Serato DJ ソフトウェアの画面上に [**VIDEO**] パネルに切り換えるキーが表示されます。[**VIDEO**] パネルを表示させるには、この [**VIDEO**] パネルに切り換えるキーをマウスでクリックしてください。

ミキサー部



1 FX 1 アサインボタン
各チャンネルに対して、エフェクトユニット FX1 をオン / オフします。

2 FX 2 アサインボタン
各チャンネルに対して、エフェクトユニット FX2 をオン / オフします。

3 TRIM ツマミ
各チャンネル出力の大きさを調整します。

4 EQ（HI、MID、LOW）ツマミ
各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

5 チャンネルレベルインジケーター
各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

6 FILTER ツマミ
各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけます。
ツマミがセンター位置のとき原音が出力されます。

左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。
右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

7 ヘッドホン CUE/MIC TALK OVER ボタン
押す：
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声がヘッドホンから出力されます。
- ヘッドホン [**CUE**] ボタンを再び押すと、モニターが解除されます。

チャンネル 3 または 4 の [**INPUT SELECT**] スイッチが [**MIC1**] または [**MIC2**] に設定されているときは、トークオーバー機能のオン / オフができます。
トークオーバー機能がオンのとき、ヘッドホン [**CUE/MIC TALK OVER**] ボタンが点滅します。マイクに− 15 dB 以上の音声が入力されるとマイク音声以外の音声が約 20 dB 減衰します。
- チャンネル 3 または 4 のどちらかのヘッドホン [**CUE/MIC TALK OVER**] ボタンを押すことで、[**MIC1**] 端子に接続されたマイクおよび [**MIC2**] 端子に接続されたマイクの両方のトークオーバー機能のオン / オフができます。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
ボタンを叩くことでトラックのテンポを設定できます。(TAP 機能)
- TAP 機能を使うと、コンピュータ画面のデッキ部の表示が [**Beatgrid Editer**] 表示に切り換わります。デッキ部の表示を元に戻すには、コンピュータ画面の [**Edit Grid**] をクリックします。

8 ヘッドホン CUE ボタン
押す：
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声がヘッドホンから出力されます。
- ヘッドホン [**CUE**] ボタンを再び押すと、モニターが解除されます。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
ボタンを叩くことでトラックのテンポを設定できます。(TAP 機能)
- TAP 機能を使うと、コンピュータ画面のデッキ部の表示が [**Beatgrid Editer**] 表示に切り換わります。デッキ部の表示を元に戻すには、コンピュータ画面の [**Edit Grid**] をクリックします。

9 チャンネルフェーダー
動かす：
各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[**SHIFT**] ＋ 動かす：
チャンネルフェーダースタート機能を使います。
チャンネルフェーダースタートについて、詳しくは 24ページ の「チャンネルフェーダースタート機能を使う」をご覧ください。

10 クロスフェーダーアサインスイッチ
チャンネルの出力先をクロスフェーダーに割り当てます。
[**A**]：クロスフェーダーの [**A**]（左）側に割り当てます。
[**B**]：クロスフェーダーの [**B**]（右）側に割り当てます。
[**THRU**]：クロスフェーダーを使わないときに選びます（クロスフェーダーは通過しません）。

11 クロスフェーダー
クロスフェーダーアサインスイッチによって割り当てられた音声を出力します。

12 MASTER LEVEL ツマミ
マスター出力の音声レベルを調整します。

13 マスターレベルインジケーター
マスター出力の音声レベルを表示します。

14 ブースモニターレベルツマミ
[**BOOTH**] 端子から出力される音声レベルを調整します。

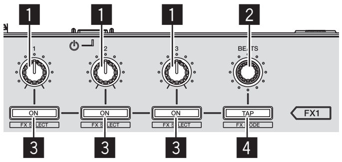
15 HEADPHONES MIXING ツマミ
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声とマスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

16 MASTER CUE ボタン
マスター出力の音声のモニターをオン / オフします。

17 SAMPLER VOLUME フェーダー
サンプラー全体の音声レベルを調整します。

エフェクト部

2 つのエフェクトユニット (FX1 および FX2) をコントロールします。コントローラ左側に FX1、コントローラ右側に FX2 を操作するツマミやボタンがあります。また、ミキサー部のエフェクトアサインボタンで、どのチャンネルにエフェクトをかけるかを設定します。



1 エフェクトパラメーターツマミ
エフェクトのパラメーターを調整します。

2 FX BEATS ツマミ
エフェクト時間を調整します。

3 エフェクトパラメーターボタン
押す：
エフェクトのオン / オフ、またはパラメーターを切り換えます。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

4 TAP ボタン
押す：
エフェクトの基準となる BPM 値を、ボタンを指で叩いた間隔から算出します。
ボタンを長く押すと設定したエフェクト時間はリセットされます。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
エフェクトモードを切り換えます。
- 本機能 (エフェクトモード切り換え) は Serato DJ ver. 1.0 では使用できません。将来のバージョンアップにて対応予定です。

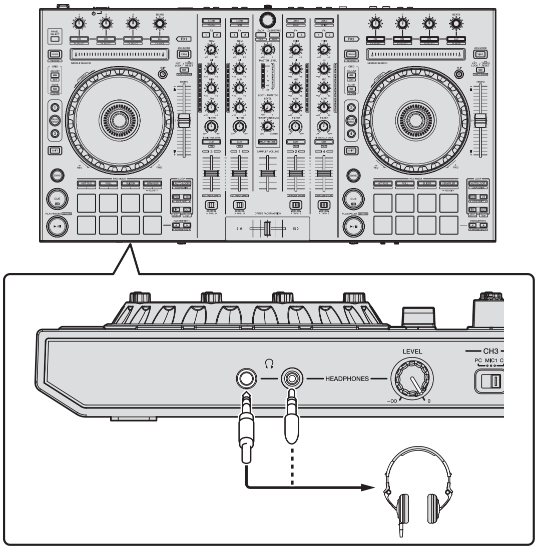
❖ エフェクト音をモニターするには

[**HEADPHONES MIXING**] ツマミを [**CUE**] 側に回したとき、ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押されているチャンネルの音声には、Serato DJ ソフトウェアのエフェクト音は出力されません。Serato DJ ソフトウェアのエフェクト音モニターしたいときは、[**HEADPHONES MIXING**] ツマミを [**MASTER**] 側に回し、[**MASTER CUE**] ボタンをオンにして、マスター出力の音声にてエフェクト音をモニターしてください。

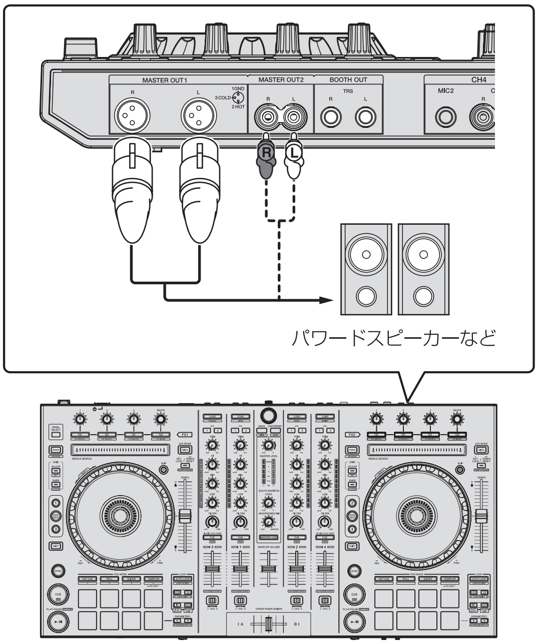
操作する (基本編)

接続する

1 どちらかの [**PHONES**] 端子にヘッドホンを接続する

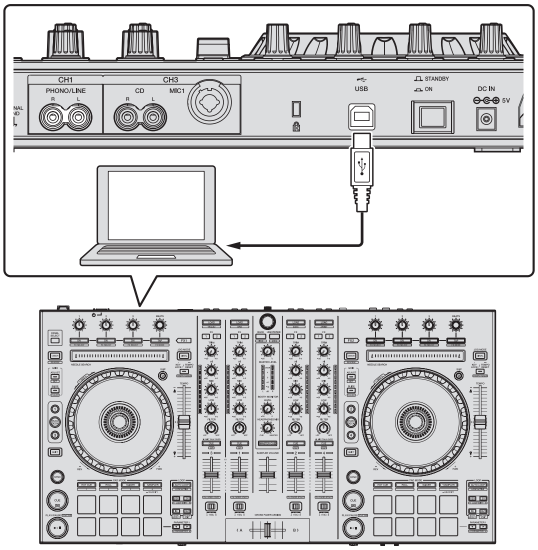


2 [**MASTER OUT 1**] 端子または [**MASTER OUT 2**] 端子にパワードスピーカー、パワーアンプ、コンポなどの機器を接続する



- [**BOOTH**] 端子から音声を出力する場合は、[**BOOTH**] 端子にスピーカーなどの機器を接続してください。
- 入出力端子の接続についての詳細は、「接続する」(p.8) を参照してください。

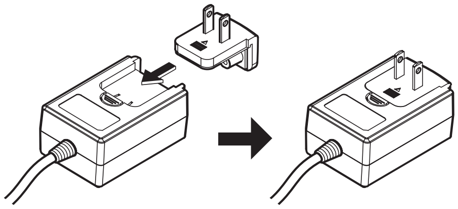
3 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する



4 コンピュータの電源をオンにする

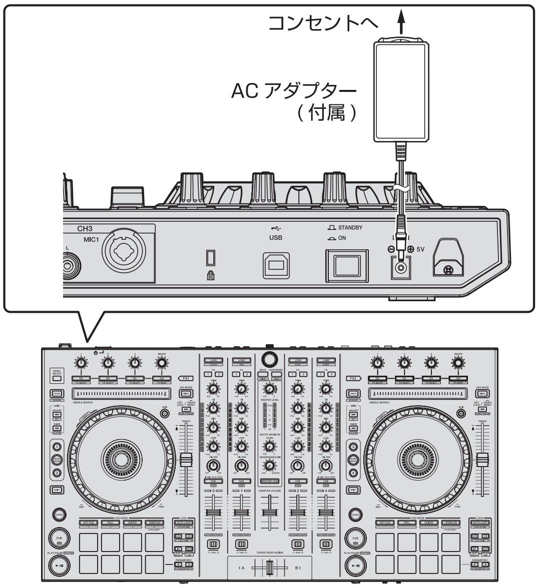
5 AC アダプターに電源プラグを取り付ける

AC アダプター本体のガイドレールに沿って図のように電源プラグをスライドさせ、カチリと音がするまで押し込んでください。

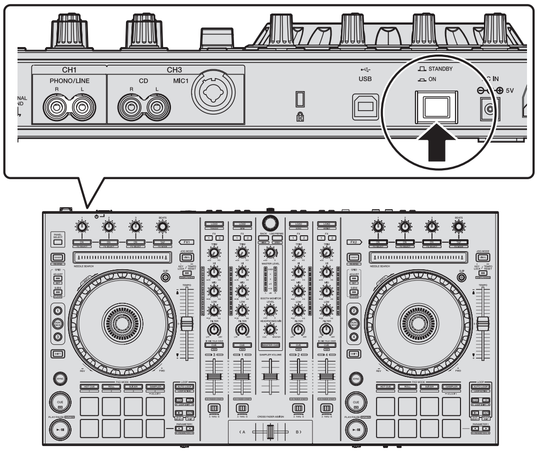


- AC アダプターの注意事項の詳細については、「AC アダプターについて」(p.4) をご覧ください。
- 販売されている地域によって、プラグ形状は異なります。

6 AC アダプターを接続する



7 本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチを押して、本機の電源をオンにする



本機の電源をオンにします。

- Windows をお使いのお客様
  本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータのUSB端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

8 出力端子に接続された機器（パワードスピーカー、パワーアンプ、コンポなど）の電源を入れる

- 入力端子にマイクやＤＪプレーヤーなどの外部機器を接続している場合は、それらの機器の電源も入れてください。

システムを起動する

Serato DJ を起動する

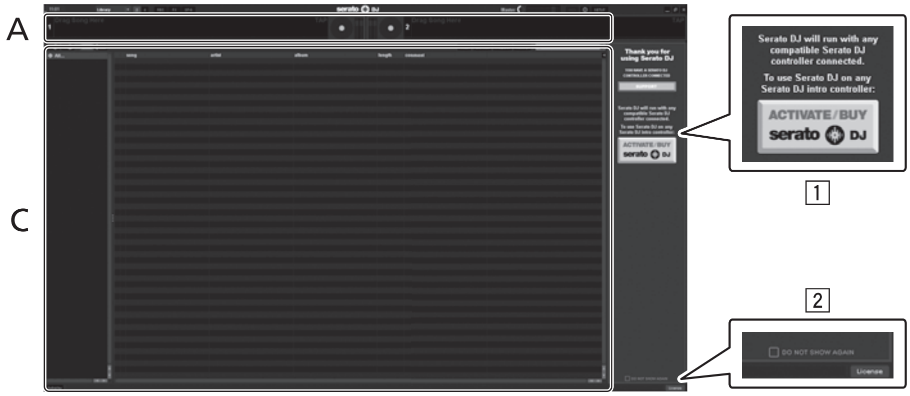
Windows のとき

Windows の [**スタート**] メニューから、[**すべてのプログラム**] > [**Serato**] > [**Serato DJ**] > [**Serato DJ**] のアイコンをクリックする

Mac OS X のとき

Finder で [**アプリケーション**] フォルダを開いてから、[**Serato DJ**] のアイコンをクリックする

Serato DJ ソフトウェア起動直後のコンピュータ画面



1 Serato DJ の初回起動時に表示される画面右側に [**ACTIVATE/BUY Serato DJ**] のアイコンが表示される場合がありますが、**DDJ-SX** をお使いのお客様はアクティベーションやライセンスを購入する必要はありません。
2 右側画面下部の [**DO NOT SHOW AGAIN**] にチェックを入れ、[**License**] をクリックしてそのままお使いください。

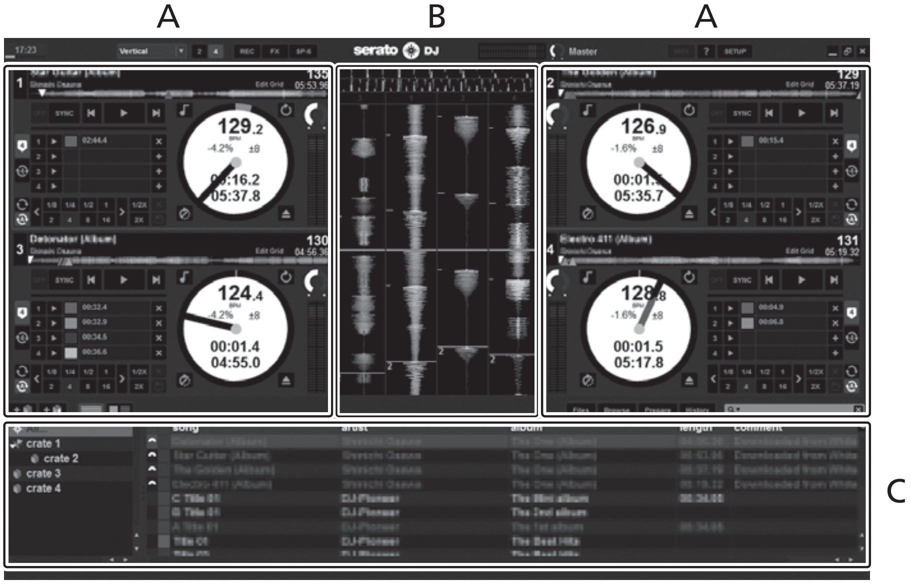
ビートグリッドの操作をするには

Serato DJ では、[**SYNC PREFERENCE**] の初期値が [**Simple sync**] に設定されており、ビートグリッドの操作を行うには [**Smart sync**] に切り換える必要があります。

SETUP–DJ Preference-SYNC PREFERENCE

設定画面の表示方法やビートグリッドの詳細については、Serato DJ のマニュアルで確認してください。

Serato DJ ソフトウェアに楽曲をロードしたときのコンピュータ画面



A デッキ部

ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPM などのトラック情報や全体波形などを表示します。

B ウェーブフォームディスプレイ

ロードされたトラックの波形を表示します。

C ブラウザ部

ライブラリの中の楽曲や複数の楽曲をまとめて保存した crate を表示します。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ ソフトウェアの操作については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

楽曲をインポートする

以下では、楽曲をインポートする代表的な操作方法について説明します。
- Serato DJ ソフトウェアではさまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato 社の DJ ソフトウェア (Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro) をお使いのお客様で楽曲ライブラリを作成されている場合は、以前作成した楽曲ライブラリをそのまま使うことができます。

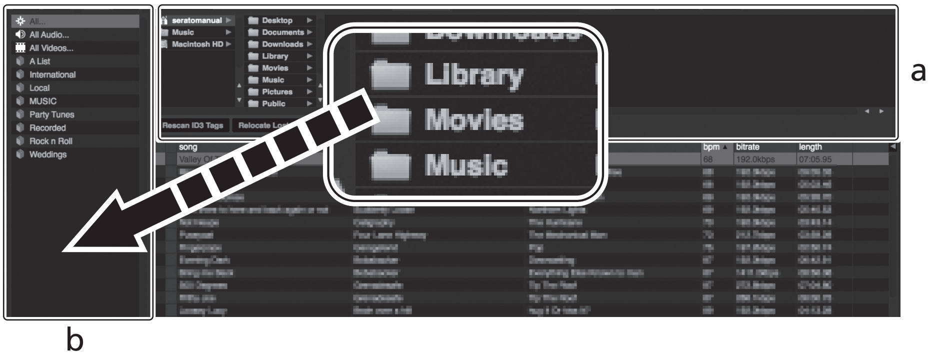
1 Serato DJ ソフトウェア画面の [Files] キーをクリックして [Files] パネルを開く

お使いのコンピュータおよびコンピュータに接続されている周辺機器の中身が [Files] パネルに表示されます。

2 [Files] パネル内でライブラリに加えたい楽曲が含まれているフォルダをクリックして選択する。

3 Serato DJ ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダを crates パネルにドラッグ & ドロップする

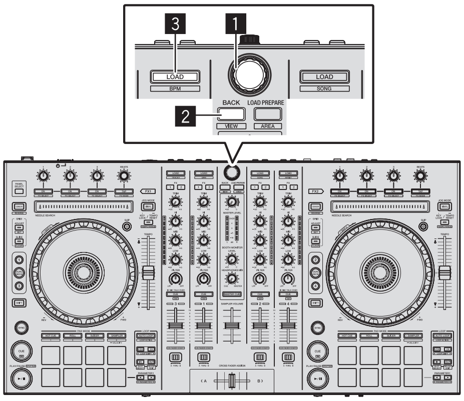
crate が作成され、ライブラリに楽曲が追加されます。



a [Files] パネル
b crates パネル

トラックをロードして再生する

以下では、デッキ [1] にトラックをロードする方法を例にして説明します。



1 ロータリーセレクター

2 BACK ボタン

3 LOAD ボタン

1 本機の [BACK] ボタンを押して、コンピュータ画面の crates パネルにカーソルを移動させ、ロータリーセレクターを回して、crate などを選ぶ

2 ロータリーセレクターを押して、コンピュータ画面のライブラリにカーソルを移動させ、ロータリーセレクターを回して、トラックを選ぶ

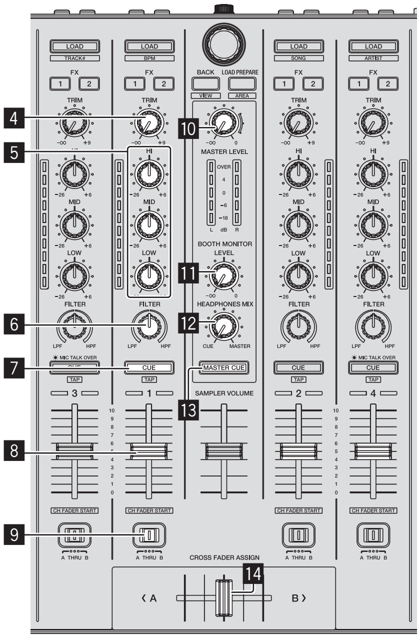
a ライブラリ
b crates パネル

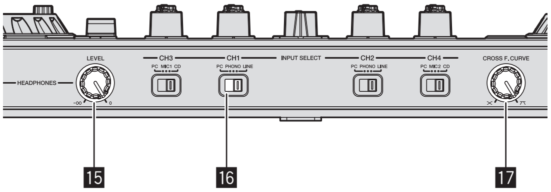
3 [**LOAD**] ボタンを押して、選んでいるトラックをデッキにロードする

トラックを再生して音声を出力する

以下では、チャンネル 1 の音声を出力する方法を例にして説明します。

- [**MASTER OUT 1**] 端子および [**MASTER OUT 2**] 端子に接続している機器（パワーアンプ、パワードスピーカーなど）のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。





4 **TRIM** ツマミ

5 **EQ**（**HI**、**MID**、**LOW**）ツマミ

6 **FILTER** ツマミ

7 ヘッドホン **CUE** ボタン

8 チャンネルフェーダー

9 クロスフェーダーアサインスイッチ

10 **MASTER LEVEL** ツマミ

11 **BOOTH MONITOR LEVEL** ツマミ

12 **HEADPHONES MIXING** ツマミ

13 **MASTER CUE** ボタン

14 クロスフェーダー

15 **HEADPHONES LEVEL** ツマミ

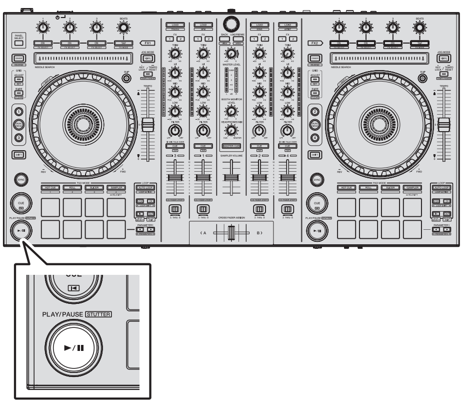
16 **INPUT SELECT** スイッチ

17 クロスフェーダーカーブ切換ツマミ

1 以下のように、ツマミなどの位置を設定してください。

ツマミなどの名称	位置
MASTER LEVEL ツマミ	左に回しきった位置
TRIM ツマミ	左に回しきった位置
EQ（**HI**、**MID**、**LOW**）ツマミ	中心位置
FILTER ツマミ	中心位置
チャンネルフェーダー	手前側の位置
クロスフェーダーアサインスイッチ	[**THRU**] の位置
INPUT SELECT スイッチ	[**PC**] の位置

2 [▶/II] ボタンを押してトラックを再生する



3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

4 [TRIM] ツマミを回す

チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**TRIM**] を調整してください。

5 [MASTER LEVEL] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[**MASTER OUT 1**] 端子および [**MASTER OUT 2**] 端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

ヘッドホンで音声をモニターする

以下のように、ツマミなどの位置を設定してください。

ツマミなどの名称	位置
HEADPHONES MIXING ツマミ	中心位置
HEADPHONES LEVEL ツマミ	左に回しきった位置

1 チャンネル 1 のヘッドホン [CUE] ボタンを押す

2 [HEADPHONES LEVEL] ツマミを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

メモ

本機と Serato DJ ソフトウェアは、個性的な DJ プレイを可能にする多くの機能が搭載されています。それぞれの機能について、詳しくは Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- Serato DJ のソフトウェアマニュアルは、「Serato.com」からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.30) をご覧ください。

システムを終了する

1 [Serato DJ] を終了する

ソフトウェアを閉じると、終了の確認のための画面がコンピュータ上に表示されます。[**Yes**] をクリックして終了します。

2 本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチを押して、本機の電源をスタンバイにする

3 USB ケーブルをコンピュータから抜く

操作する（応用編）

これ以降の操作説明の記載では、Serato DJ のソフトウェアマニュアルで説明されていない、本機と Serato DJ を組み合わせたときの特有な機能について説明しています。

パフォーマンスパッドを使う

「ホットキュー」、「ループロール」、「スライサー」、「サンプラー」をコントロールします。
それぞれの機能はパッドモードボタン（[**HOT CUE**] モードボタン、[**ROLL**] モードボタン、[**SLICER**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン）で切り換えます。

ホットキューを使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。
- ホットキューポイントは 1 トラックにつき 8 箇所まで設定および記憶できます。

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

[**HOT CUE**] モードボタンが点灯し、HOT CUE モードに切り換わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

ホット キュー１	ホット キュー２	ホット キュー３	ホット キュー４
ホット キュー５	ホット キュー６	ホット キュー７	ホット キュー８

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントが消去できます。

ループロールを使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループを設定し、押し続けているあいだループ再生を継続します。
ループロール再生中、バックグランドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。ループロール再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から再生を再開します。

1 [ROLL] モードボタンを押す

[**ROLL**] モードボタンが点灯し、ROLL モードに切り換わります。

2 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、パフォーマンスパッドに割り当てられるループロールの拍が切り換わります。

以下の 4 通りの設定ができます。
① 1/32 から 4 拍
② 1/16 から 8 拍
③ 1/8 から 16 拍
④ 1/4 から 32 拍
例えば、「1/16 から 8 拍」の設定では、パッドの設定値は以下のようになります。

1/16 拍	1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍
1 拍	2 拍	4 拍	8 拍

コンピュータ画面にはループロールの設定されている拍の範囲が表示されます。

3 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループロール再生します。
ループロール再生中もバックグランドで再生を続けます。
- ループロール再生中に [**LOOP 1/2X**] ボタンまたは [**LOOP 2X**] ボタンを押して再生中のループロール音の拍数を変えることができます。

4 パフォーマンスパッドから指を離す

ループロール再生が解除され、バックグランドで進んだ位置から再生を開始します。

スライサーを使う

指定した範囲を 8 分割し、分割したそれぞれの区間をパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てます。パフォーマンスパッドの 1 つを押しているあいだ、パッドに割り当てられた区間の音声をループ再生します。
パッドに割り当てられたの音声のループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま再生を続けます。パッドを離してループ再生が終わると、それまでに経過した位置から再生を再開します。
- スライサー機能はビートグリッドが設定されていない楽曲ではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
  — 本機の [**GRID ADJUST**] ボタン、[**GRID SLIDE**] ボタンでビートグリッドの設定をすることもできます。(p.12)

1 [SLICER] モードボタンを押す

[**SLICER**] モードボタンが点灯し、SLICER モード 1 に切り換わります。

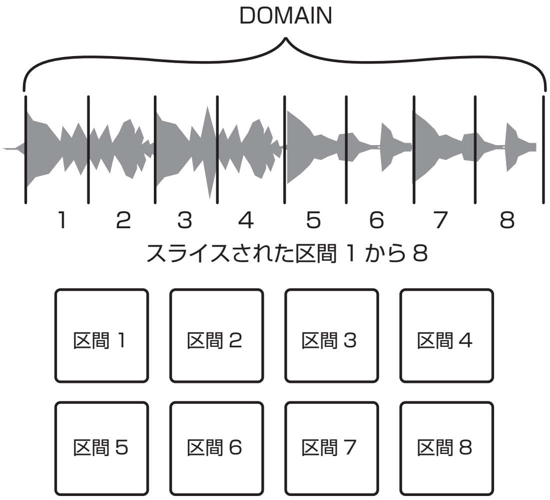
2 [SLICER] モードボタンを押して、SLICER モードを選ぶ

ボタンを押すたびに SLICER モード 1 と SLICER モード 2 が切り換わります。
➲ 「SLICER モード 1 と SLICER モード 2 について」(p.22)

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

スライサーの「DOMAIN」を設定します。[**SHIFT**] ボタンを押しながら、ボタンを押すごとに、DOMAIN の設定値が切り換わります。
「DOMAIN」は 2 拍、4 拍、8 拍、16 拍、32 拍、64 拍の 6 通りの設定ができます。

「DOMAIN」で設定した範囲を 8 分割したそれぞれのスライスされた区間は、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



4 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

スライサーの「QUANTIZATION」を設定します。ボタンを押すごとに、QUANTIZATION の設定値が切り換わります。
「QUANTIZATION」は 1/8、1/4、1/2、1 の 4 通りの設定ができます。
「QUANTIZATION」の設定値によって、パッドを押している間のループ再生の長さを変更できます。例えば、「QUANTIZATION」の設定が「1」のときはパッドに割り当てられた区間全体をループ再生し、「QUANTIZATION」の設定が「1/2」のときはパッドに割り当てられた区間の先頭から 1/2 の長さだけをループ再生します。

5 パフォーマンスパッドを押し続ける

パッドを押し続けているあいだ、ループ再生を続けます。

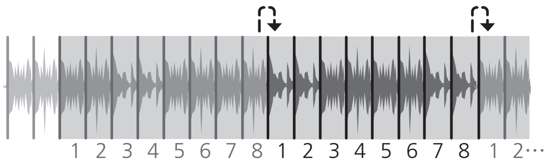
- ループ再生の長さは「QUANTIZATION」の設定により異なります。

パッドから手を離すと、バックグランドで再生している位置に戻ります。

❖ SLICER モード 1 と SLICER モード 2 について

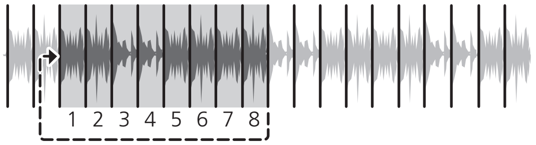
SLICER モード 1

再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、画面上の範囲が次の 8 分割表示に切り換わり、分割されたそれぞれの区間は新たに各パッドへ割り当てられます。



SLICER モード 2

再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、再生位置が 8 分割された範囲の最初に戻ります。



サンプラーを使う

サンプラー（SP-6）のサンプラースロットにロードされた楽曲を、パフォーマンスパッドで再生できます。

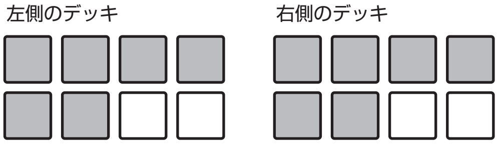
1 [PANEL SELECT] ボタンを押して、コンピュータ画面上に [SP-6] パネルを開く

2 [SAMPLER] モードボタンを押す

[**SAMPLER**] モードボタンが点灯し、SAMPLER モードに切り換わります。

3 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

サンプラー（**SP-6**）のバンクを切り換えます。サンプラーは **A**、**B**、**C**、**D** の 4 つのバンクがあり、それぞれのバンクには 6 つのスロットがあります。

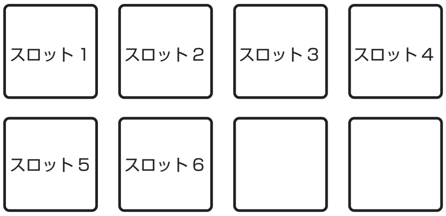


4 コンピュータ画面のマウス操作でトラックをドラッグ＆ドロップし、[SP-6] パネルの各スロットに曲をロードする

サンプラーの設定とロードした楽曲が保存されます。

5 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。



- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

スリップを使う

スリップをオンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、またはホットキューの再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、またはホットキューの再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。
リズムを崩すことなく様々なパフォーマンスが可能です。

- [**SLIP**] ボタンは、スリップモードにしたときに点灯し、バックグラウンドで再生を続けている間は点滅します。

スリップスクラッチプレイ

1 [VINYL] ボタンを押す

2 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

3 再生中にジョグダイヤルの天面を操作してスクラッチプレイする

スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

スリップホットキュー

1 [HOT CUE] モードボタンを押す
HOT CUE モードにします。

2 ホットキューを設定する
パフォーマンスパッドを押してホットキューを設定します。

3 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける
ホットキューを設定した位置から再生が始まります。パフォーマンスパッドを押し続けている間、再生を続けます。
ホットキューの再生中もバックグランドで通常の再生を続けます。

5 パフォーマンスパッドから指を放す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

スリップブレイキング

1 [SETUP] メニューの [DJ Preference] タブの中にある [BRAKING] — [STOP TIME] の設定を調整する
[**BRAKING**] の設定はトラックの再生状態から停止するまでの速度を調整します。
スリップブレイキングを使うときは、コンピュータ画面の [**BRAKING**] のツマミを 9 時付近に調整してゆっくりと停止する設定にしておきます。

2 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

3 再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す
ボタンを押し続けている間、ゆっくりと再生が止まります。ゆっくりと停止している間もバックグランドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

スリップオートループ

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 [LOOP 1/2X] ボタンまたは [LOOP 2X] ボタンを押す
オートループの拍を選択します。

3 [AUTO LOOP] ボタンを押す
指定した拍数でループが設定されて、ループ再生が始まります。
ループ再生中もバックグランドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[AUTO LOOP] ボタンを押す
ループが解除され、バックグランドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

スリップマニュアルループ

❖ ループを作ってスリップさせる

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 [LOOP IN] ボタンを押してから [LOOP OUT] ボタンを押す
ループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、[LOOP OUT] ボタンを押す
ループが解除され、バックグランドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

❖ ループスロットのループを使ってスリップさせる

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [LOOP IN] ボタンを押して、再生したいループを選ぶ

3 [SHIFT] ボタンを押したまま [LOOP OUT] ボタンを押す
ループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
次の操作まで [**SHIFT**] ボタンを押したままにします。

4 [SHIFT] ボタンを押したまま、もう一度 [LOOP OUT] ボタンを押す
ループが解除され、バックグランドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

DUAL DECK モードを使う

DUAL DECK モードは、デッキ 1 とデッキ 3 (またはデッキ 2 とデッキ4) にて２つの異なるトラックをミックスするときに両方のデッキを同時にコントロールできる機能です。
マッシュアップやブレンドでミックスした 2 つの異なるトラックがあたかも１つの楽曲であるかのように、スクラッチ、ループ、ホットキューなどの操作を可能にするというという特徴を持っています。

DUAL DECK モードでの状態表示
- DUAL DECK モードでは、DUAL DECK モードをオンする直前に選択していたデッキの状態を表示します。

下記の操作説明では、デッキ 1 とデッキ 3 を同時にコントロールする場合の操作を例として記載しています。

1 [DECK 1] ボタンを押す
デッキ 1 が選択され、[**DECK** 1] ボタンが点灯します。

2 [DUAL DECK] ボタンを押す
DUAL DECK モードがオンになり、[**DECK** 1] ボタンと [**DUAL DECK**] ボタンが点灯します。
コントローラはデッキ 1 の状態を表示します。

3 [DUAL DECK] ボタンを押す
DUAL DECK モードがオフになり、[**DECK** 1] ボタンが点灯します。
コントローラはデッキ 1 を選択した状態になります。
- DUAL DECK モードがオンのときに [**DECK**] ボタンを押すと、DUAL DECK モードがオフになり、[**DECK**] ボタンで選択したデッキに切り換わります。

DUAL DECK モードでコントロールできる機能

以下の機能は、DUAL DECK モードで両方のデッキを同時にコントロールできます。

操作するボタンやツマミ	機能
ジョグダイヤル	スクラッチ、ピッチベンド、スキップモード、スリップスクラッチ
VINYL ボタン	VINYL モード
KEY LOCK ボタン	キーロック、テンポリセット
AUTO LOOP ボタン	オートループ、ループアクティブ、スリップオートループ
LOOP 1/2X ボタン	オートループの拍選択、ループハーフ、ループシフト
LOOP 2X ボタン	オートループの拍選択、ループダブル、ループシフト
LOOP IN ボタン	ループイン、ループインアジャスト、ループスロット選択、スリップマニュアルループ
LOOP OUT ボタン	ループアウト、ループアウトアジャスト、リループ / イグジット、スリップマニュアルループ
HOT CUE モードボタン	HOT CUE モード
ROLL モードボタン	ROLL モード
SLICER モードボタン	SLICER モード
SAMPLER モードボタン	SAMPLER モード
パフォーマンスパッド	ホットキュートリガ、ホットキュー削除、スリップホットキュー、ループロールトリガ、スライサートリガ
PARAMETER◀ ボタン、**PARAMETER▶** ボタン	ループロール拍選択、SLICER QUANTIZATION 選択、SLICER DOMAIN 選択
PLAY/PAUSE ▶/II ボタン	再生、一時停止、スリップブレイキング
CUE ボタン	キュー設定、バックキュー、キューサンプラー
SYNC ボタン	SYNC、SYNC オフ
SLIP ボタン	スリップモード
CENSOR ボタン	CENSOR、リバース
NEEDLE SEARCH パッド	ニードルサーチ

DUAL DECK モードで制限のある機能

以下の機能は、DUAL DECK モードではデッキ表示されている側のデッキのみ操作できます。

操作するボタンやツマミ	機能
TEMPO スライダー	テンポ調整
KEY LOCK ボタン	テンポレンジ

デッキステイト・ミラーリング機能

各デッキで以下の状態が異なるとき、自動で状態を [**DECK**] ボタンが点灯しているほうにあわせます。

- VINYL モードの状態、パッドモードの状態、スリップモードの状態

チャンネルフェーダースタート機能を使う

1 キューを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの [**CUE**] ボタンを押します。

- 一時停止中に、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを奥側から一番手前の位置にしたときもキューを設定することができます。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に [**SHIFT**] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります (バックキュー)。
- キューが設定されていないときはトラックの先頭から再生を始めます。
- ユーティリティ設定でチャンネルフェーダースタートを開始すると同時に SYNC する設定に変更することもできます。
- キュー待機中に、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを奥側から一番手前の位置にしたときは設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

SAMPLER VELOCITY を使う

[**SAMPLER**] モードボタンを 1 秒以上押すと、SAMPLER VELOCITY モードをオン / オフします。

SAMPLER VELOCITY モードがオンのとき、パフォーマンスパッドを叩く強さに応じて、サンプル音量のレベルが変化します。パフォーマンスパッドを強く叩くと音量レベルが大きくなり、パフォーマンスパッドを弱く叩くと音量レベルが小さくなります。

SAMPLER VELOCITY モードがオフのときは、パフォーマンスパッドを叩く強ささに関係なく、Serato DJ ソフトウェアで設定した音量レベルでトリガされます。

- SAMPLER VELOCITY モードのオン / オフは電源を入れる度にリセットされ、本機を起動した際はオフになっています。
- ユーティリティ設定でベロシティカーブの設定ができます。

曲を解析する

本機の [**LOAD**] ボタンを押してデッキに曲をロードすると曲の解析が実行されますが、解析が終了するまで BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。

Serato DJ ソフトウェアをオフラインプレーヤーとして使用すると、事前に曲を解析することができます。解析の終了している曲は、デッキに曲をロードした後すぐに BPM や波形が表示されるようになります。

Serato DJ でのオフラインプレーヤーや曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- 楽曲の数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

ユーティリティ設定

以下の設定を変更することができます。

- Serato DJ 以外の DJ ソフトウェア設定
- チャンネルフェーダースタート設定
- マスターアッテネータの設定を変更する
- スリップモードフラッシング設定
- デモモード設定
- SAMPLER VELOCITY モードのベロシティカーブ設定
- SAMPLER VELOCITY モードの MIDI 設定
- ジョグダイヤルのイルミネーションモード設定

ユーティリティ設定モードを起動する

USB ケーブルで本機とコンピュータを接続したままユーティリティ設定を起動させると、設定する状態が正しく表示がされない場合があります。

1 USB ケーブルをコンピュータから抜く

2 本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチを押して、本機の電源をスタンバイにする

本機の電源をスタンバイにします。

3 左側のデッキの [SHIFT] ボタンと [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンの両方を押しながら、本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチを押す

ユーティリティ設定モードが起動します。

4 ユーティリティ設定モードにしたあとで、設定を変更したい項目についてコントローラーを操作する

変更可能な設定については、以下の説明をご覧ください。

5 本機の背面部にある [STANDBY/ON] スイッチを押して、本機の電源をスタンバイにする

設定を保存するには、本機の背面部にある [**STANDBY/ON**] スイッチをスタンバイにして、ユーティリティ設定モードを終了させます。

設定を変更する

❖ Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを使う

Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときに、この設定を変更します。
- 初期設定は Serato DJ を使う設定です。

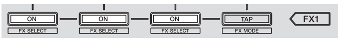
左側のデッキの [KEY LOCK] ボタンを押す

- [**KEY LOCK**] ボタン消灯：Serato DJ を使う設定
- [**KEY LOCK**] ボタン点灯：Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを使う設定

❖ チャンネルフェーダースタートの設定を変更する

チャンネルフェーダースタート機能の設定を変更できます。
- 初期設定は SYNC 設定なしのチャンネルフェーダースタートです。

左側のデッキのエフェクトパラメーターボタンのいずれかを押す



- エフェクトパラメーターボタン（左）点灯：SYNC 設定有りのチャンネルフェーダースタート（チャンネルフェーダースタート開始と同時に SYNC 機能が働きます。）
- エフェクトパラメーターボタン（中央）点灯：SYNC設定無しのチャンネルフェーダースタート（チャンネルフェーダースタート開始時に SYNC 機能は働きません。）
- エフェクトパラメーターボタン（右）点灯：チャンネルフェーダースタート機能は無効

❖ マスター出力のアッテネーターレベルを設定する

- 初期設定は 0 dB です。

左側のデッキの [HOT CUE] モードボタン、[ROLL] モードボタン、[SLICER] モードボタンのいずれかを押す

- [**HOT CUE**] モードボタン点灯：0 dB（アッテネータなし）
- [**ROLL**] モードボタン点灯：－ 3 dB
- [**SLICER**] モードボタン点灯：－ 6 dB

❖ スリップモードフラッシング設定を無効にする

スリップモードをオンにしたとき、ジョグダイヤルのインジケータ、[**AUTO LOOP**] ボタン、[**PLAY/PAUSE ►/II**] ボタンなど、スリップモードで操作できるボタンが点滅します。この設定はボタンの点滅を無効にすることができます。
- 初期設定ではスリップモードフラッシングは有効です。

左側のデッキの [SLIP] ボタンを押す

- [**SLIP**] ボタン点灯：スリップモードフラッシング 有効
- [**SLIP**] ボタン消灯：スリップモードフラッシング 無効

❖ デモモードを無効にする

本機は通常の使用状態で 10 分間何の操作もないとき、デモモードを実行しますが、このデモモードは無効にすることができます。
- 初期設定ではデモモードは有効です。
- デモモード中は本機のいずれかのツマミやボタンを操作すると、デモモードを解除できます。

[TAP] ボタンを押す

- [**TAP**] ボタン点灯：デモモード 有効
- [**TAP**] ボタン消灯：デモモード 無効

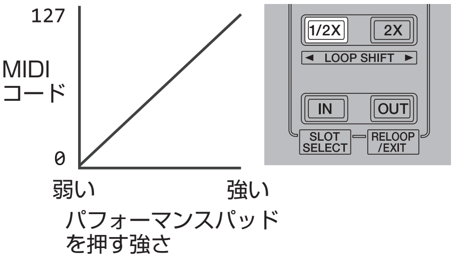
❖ SAMPLER VELOCITY モードのベロシティカーブ設定を変更する

SAMPLER VELOCITY モードのベロシティカーブを設定します。ベロシティカーブは 4 種類のうちから選択でき、左右のデッキでそれぞれ異なるベロシティカーブ設定ができます。
- 初期設定は両側ともにカーブ 1 です。

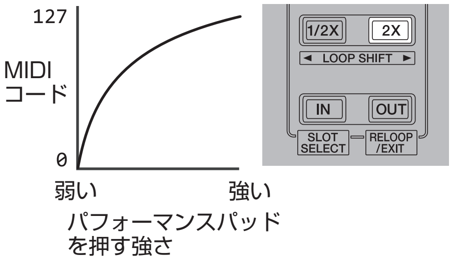
設定を行いたいデッキ側にある [PARAMETER►] ボタンを押す

[**PARAMETER►**] ボタンを押すごとに、ベロシティカーブの設定が変わります。
[**LOOP 1/2X**] ボタン、[**LOOP 2X**] ボタン、[**LOOP IN**] ボタン、[**LOOP OUT**] ボタンの点灯状況により、現在の設定値を示します。

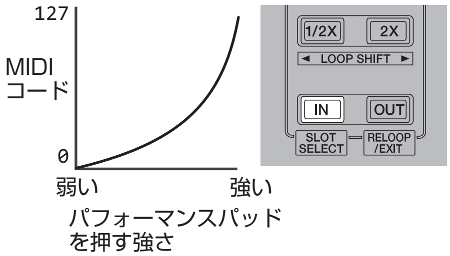
カーブ 1



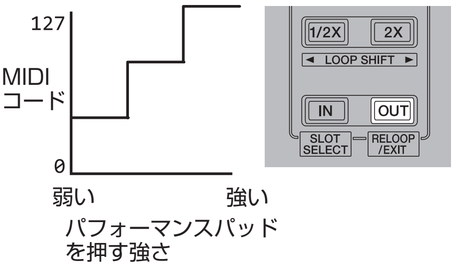
カーブ 2



カーブ 3



カーブ 4



❖ SAMPLER VELOCITY モードの AFTER TOUCH 設定を有効にする

本機のパフォーマンスパッドの SAMPLER VELOCITY モードがオンのとき、AFTER TOUCH 設定のオン / オフができます。
AFTER TOUCH 設定 無効：パフォーマンスパッドを押した瞬間の押した強さに応じて、サンプラーの音量が変化し、パッドを押し続けている間の音量は変化しません。

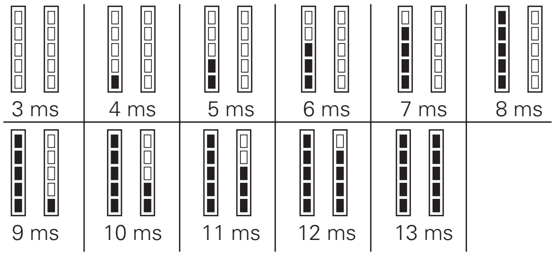
AFTER TOUCH 設定 有効：パフォーマンスパッドを押した瞬間の押した強さ、およびパッドを押し続けているあいだの押す強さに応じて、サンプラーの音量が変化します。
- 初期設定では AFTER TOUCH 設定は無効です。

左側のデッキの [SAMPLER] モードボタンを押す
- [**SAMPLER**] モードボタン点灯：AFTER TOUCH 設定 有効
- [**SAMPLER**] モードボタン消灯：AFTER TOUCH 設定 無効

❖ ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整する

本機はジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整するモードを備えています。
本機から送信される、ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔が短い場合、お使いのコンピュータの OS やスペックによってはジョグダイヤルが正しく動作しないことがあります。そのような場合は以下の手順に従って MIDI メッセージの送信間隔を調整してください。
- MIDI 送信間隔は短い方の設定から、問題の起きない長さまで上げてください。
- 初期設定は 3 ms です。

左側のデッキの [SHIFT] ボタンを押す
ボタンを押すごとに、MIDI の送信間隔の設定が変わります。マスターレベルインジケーターの点灯により現在の設定値が分かります。

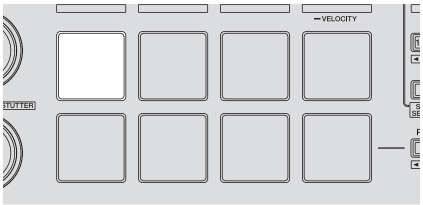


❖ ジョグダイヤルのイルミネーションモードを切り換える

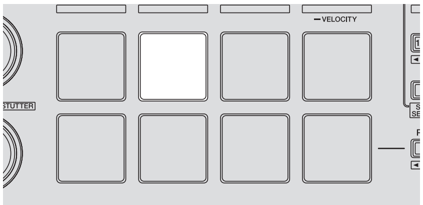
ジョグダイヤル中心部のイルミネーションの点灯パターンを切り換えることができます。
- 左右デッキの両方のジョグダイヤルに同じ設定が適用されます。
- 初期設定はパターン 2 です。

左側のデッキのパフォーマンスパッドの 1 つを押す
設定されたパターンでジョグダイヤル中心部のイルミネーションが 1 回転します。パフォーマンスパッドの点灯により現在の設定値が分かります。

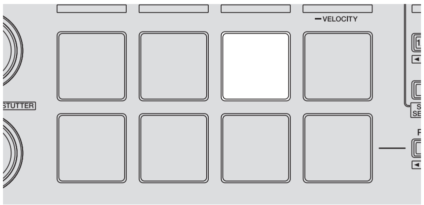
パターン 1



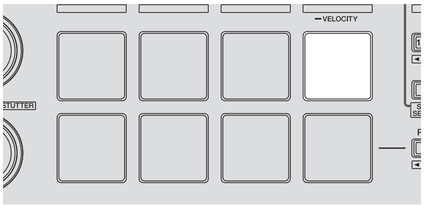
パターン 2



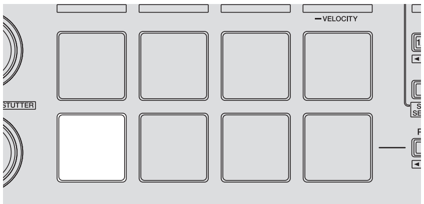
パターン 3



パターン 4



パターン 5



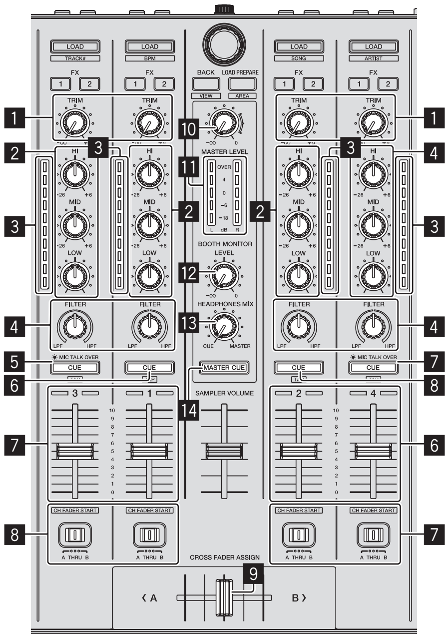
外部入力を使う

本機は CD プレーヤーやアナログターンテーブルなどを接続できる外部入力を 4 系統備えてます。本機の「4-CHANNEL MIXER」はコンピュータを介さずに外部入力の音声をミックスできます。以下に示すミキサー機能はコンピュータと接続していなくても動作します。

メモ

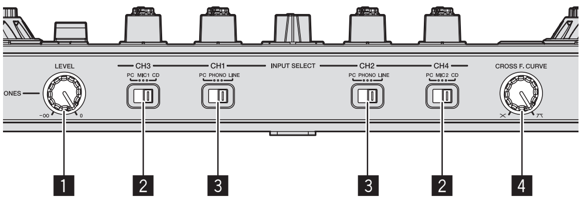
- 各項目の詳細については「接続する」(p.8) および「各部の名前とはたらき」(p.10) を参照してください。
- 次の機能は外部入力に対しては動作しません。
  - — トラックのテンポ設定 ([**SHIFT**] ボタンを押しながら、ヘッドホン [**CUE**] ボタンを押す)
  - — チャンネルフェーダースタート機能 ([**SHIFT**] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを動かす)
  - — Serato DJ ソフトウェアのエフェクトをかける
- Serato DJ ソフトウェアに対しての各ツマミなどの調整値と、外部入力に対しての各ツマミなどの調整値は異なります。

ミキサー部



1. **TRIM** ツマミ
2. **EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**) ツマミ
3. チャンネルレベルインジケーター
4. **FILTER** ツマミ
5. ヘッドホン **CUE**/**MIC TALK OVER** ボタン
6. ヘッドホン **CUE** ボタン
7. チャンネルフェーダー
8. クロスフェーダーアサインスイッチ
9. クロスフェーダー
10. **MASTER LEVEL** ツマミ
11. マスターレベルインジケーター
12. ブースモニターレベルツマミ
13. **HEADPHONES MIXING** ツマミ
14. **MASTER CUE** ボタン

本体前面部



1. **HEADPHONES LEVEL** ツマミ
2. **INPUT SELECT** スイッチ
3. **INPUT SELECT** スイッチ
4. クロスフェーダーカーブ切換ツマミ

マイクの音声をミックスする

1 [MIC1] 端子または [MIC2] 端子にマイクを接続する

2 システムを起動する

➲ 「システムを起動する」(p.17)

3 [INPUT SELECT] スイッチを [MIC1] または [MIC2] に設定する

4 [TRIM] ツマミおよびチャンネルフェーダーを操作して、各デッキから出力される音声レベルを調整する

- [**EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**)] ツマミで音声を調整したり、[**FILTER**] ツマミで各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけることができます。

DJ プレーヤーなどの音声をミックスする

1 [CD] 端子または [PHONO/LINE] 端子に DJ プレーヤーなどのラインレベル出力機器を接続する

2 システムを起動する

➲ 「システムを起動する」(p.17)

3 [INPUT SELECT] スイッチを [CD] または [LINE] に設定する

4 [TRIM] ツマミおよびチャンネルフェーダーを操作して、各デッキから出力される音声レベルを調整する

- [**EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**)] ツマミで音声を調整したり、[**FILTER**] ツマミで各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけることができます。

アナログターンテーブルなどの音声をミックスする

1 [PHONO/LINE] 端子にアナログプレーヤーなどのフォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器を接続する

2 システムを起動する

➲ 「システムを起動する」(p.17)

3 [INPUT SELECT] スイッチを [PHONO] に設定する

4 [TRIM] ツマミおよびチャンネルフェーダーを操作して、各デッキから出力される音声レベルを調整する

- [**EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**)] ツマミで音声を調整したり、[**FILTER**] ツマミで各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけることができます。

その他

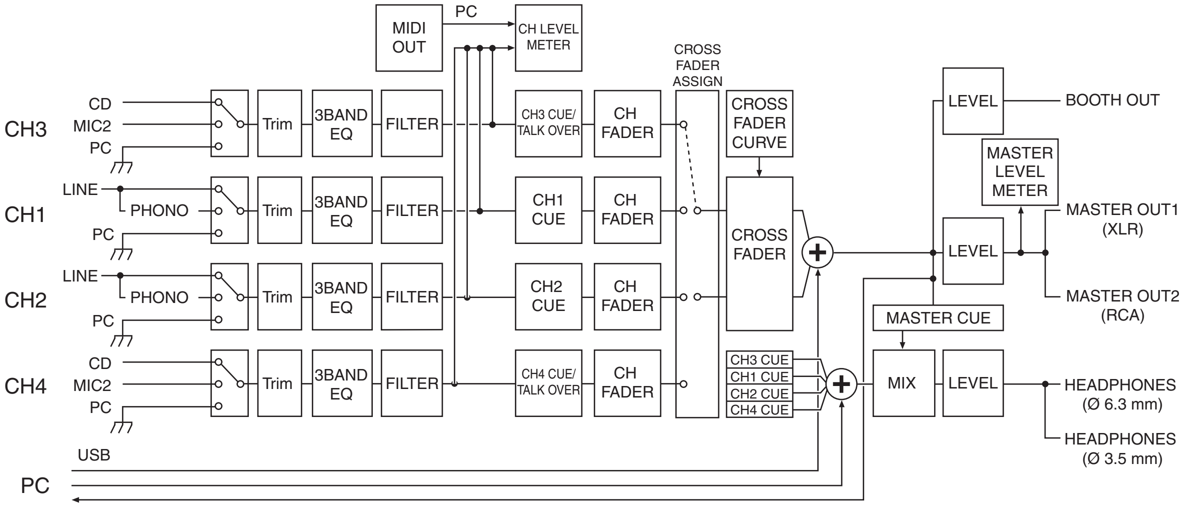
故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、31ページ の「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源の [**STANDBY/ON**] スイッチは [**ON**] になっていますか？	電源の [**STANDBY/ON**] スイッチを [**ON**] にしてください。
	付属の AC アダプターが正しく接続されていますか？	付属の AC アダプターに電源プラグを正しく取り付けてください。 付属の AC アダプターをコンセントに正しく接続してください。（4ページ）
		付属の AC アダプターの DC プラグを本機に正しく接続してください。
本機が認識されない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？ (Windows)	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。（Mac OS X ではドライバーソフトウェアは必要ありません。）(5ページ)
ライブラリにトラックが表示されない。	音楽ファイルをインポートしていますか？	音楽ファイルをインポートしてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
ライブラリに iTunes の曲が表示されない	[**SETUP**] メニューの [**Library + Display**] タブの中の [**Library + Display**] にチェックが入っていますか？	[**Library + Display**] にチェックを入れてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
曲名の修正など、ライブラリの音楽ファイルの編集ができない。	[**SETUP**] メニューの [**Library + Display**] タブの中の [**Protect Library**] が有効になっていませんか？	[**Protect Library**] を無効にしてください。
録音できない。	録音レベルが低くなっていませんか？	Serato DJ ソフトウェアの [**REC**] パネル内にあるゲインツマミを調整してください。
	録音したあとで保存していますか？	録音したあとで保存してください。 録音方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
音が出ない、または音が小さい。	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダー、[**INPUT SELECT**] スイッチおよび [**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダー、[**INPUT SELECT**] スイッチおよび [**MASTER LEVEL**] ツマミを正しい位置に設定してください。
	接続しているパワードスピーカーなどは正しく設定されていますか？	パワードスピーカーなどの外部入力切換や音量を正しく設定してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？ (Windows)	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。（Mac OS X ではドライバーソフトウェアは必要ありません。）(5ページ)
音が歪む。	[**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	マスターレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**MASTER LEVEL**] ツマミを調整してください。
	[**TRIM**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**TRIM**] ツマミを調整してください。
DJ ソフトウェアを使っているとき再生中の音声がとぎれる。	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値は適切ですか？	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。
		DJ ソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。
外部機器またはマイクの音声を出力できない。	[**INPUT SELECT**] スイッチが正しい設定になっていますか？	[**INPUT SELECT**] スイッチを正しく設定してください。
ASIO ドライバを設定すると音がとぎれる。	Serato DJ を起動したまま ASIO ドライバを設定していませんか？	ASIO ドライバは Serato DJ を起動する前に設定してください。（7ページ）
インジケータが点滅して動作がおかしくなった。	―	AC アダプターを一度抜いて 1 分以上経ってから再び差し込むことで正常に動作することがあります。 それでも同じ症状が現れるときは、AC アダプターを抜いてから修理を依頼してください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
Serato DJ の動作が不安定になる。	ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？	Serato DJ の無料アップデートをウェブサイトよりダウンロードできます。最新のバージョンをご利用ください。（5ページ）
	Serato DJ 以外のソフトウェアを同時使用していませんか？	コンピュータの負荷を減らすために、他のアプリケーションを終了してください。 それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウィルス対策ソフト、スクリーン・セーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。 （5ページ）
	コンピュータに他の USB 機器を接続している。	他の USB 機器をコンピュータから外してください。 他の USB オーディオデバイスと同時にコンピュータに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	本機が接続されている USB 端子に不具合がある。	お使いのコンピュータに複数の USB 端子がある場合は、別の USB 端子に接続してみてください。
	バッテリ駆動させているノートパソコンに接続していませんか？	ノートパソコンにコンセントから電源供給してください。 （ノートパソコンの設定によっては、バッテリ駆動中に省電力にするため、コンピュータ自体のパフォーマンスを自動的に落とす場合があります。）（5ページ）
	USB のバッファサイズが小さい。	USB バッファサイズを上げてみてください。（7ページ）
ジョグイルミネーションが再生中に回転しない。（スクラッチ操作では回転する。） SYNC しているときにデッキを切り換えると、[**TEMPO**] スライダーの操作が効かない。（TAKEOVER インジケーターが点灯する。）	ユーティリティ設定が間違っていませんか？	ユーティリティ設定で「Serato DJ を使う設定」に設定されているか確認してください。
チャンネルフェーダースタートが動作しない。	キューが設定されていますか？	キューを設定してください。（24ページ）
	ユーティリティ設定が間違っていませんか？	ユーティリティ設定でチャンネルフェーダースタートの設定を、「SYNC 設定有りのチャンネルフェーダースタート」または「SYNC 設定無しのチャンネルフェーダースタート」にしてください。
BPM が表示されない。 SYNC 機能、オートループ機能が動作しない。	曲が解析されていますか？	曲を解析してください。
	オフラインプレーヤーの設定で [**Set Auto BPM**] にチェックが入っていますか？	[**Set Auto BPM**] にチェックを入れた状態で再度、曲を解析してください。 曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
BPM は表示されるがビートグリッドが表示されない。 スライサー機能が動作しない。 SKIP モードが動作しない。	オフラインプレーヤーの設定で [**Set Auto BPM**] と [**Set Beatgrid**] にチェックが入っていますか？	[**Set Auto BPM**] と [**Set Beatgrid**] にチェックを入れた状態で再度、曲を解析してください。 曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
		ビートグリッドを設定してください。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。 本機の [**GRID ADJUST**] ボタン、[**GRID SLIDE**] ボタンでビートグリッドの設定をすることもできます。（12ページ）
BPM やビートグリッドが正しく表示されていない。 ビートグリッドがずれている。	オフラインプレーヤーの設定で BPM 解析範囲は適切に設定されていますか？	BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドや BPM を設定してください。
		ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。 本機の [**GRID ADJUST**] ボタン、[**GRID SLIDE**] ボタンでビートグリッドの調整をすることもできます。
		曲の再生中に [**SHIFT**] ボタンを押しながらヘッドホン [**CUE**] ボタンまたはヘッドホン [**CUE/MIC TALK OVER**] ボタンをビートに合わせて叩いてください（TAP 機能）。曲の BPM やビートグリッドを調整できます。 TAP 機能を使うと、コンピュータ画面のデッキ部の表示が [**Beatgrid Editer**] 表示に切り換わります。デッキ部の表示を元に戻すには、コンピュータ画面の [**Edit Grid**] をクリックします。（13ページ）

ブロックダイヤグラム



マニュアルを入手する

各操作説明書は PDF 形式のファイルで作成されている場合があります。PDF 形式 のファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® をインストールする必要があります。Adobe Reader をお持ちでないお客様はCD-ROMのメニュー画面のダウンロードリンクからインストールを行ってください。

最新版の取扱説明書をダウンロードする

1 CD-ROM をコンピュータの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。
CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、以下に従って操作してください。

- Windows のとき
  [**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。
- Mac OS X のとき
  Finder で直接 [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[DDJ-SX: 取扱説明書をダウンロードする (PDF ファイル)] を選んでから [開始] をクリックする

3「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」が表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJ サポートサイトで「DDJ-SX」の「取扱説明書」をクリックする

5 ダウンロードページの中から必要な言語をクリックする

取扱説明書のダウンロードが始まります。

Serato DJ のソフトウェアマニュアルをダウンロードする

1 CD-ROM をコンピュータの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。
CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、以下に従って操作してください。

- Windows のとき
  [**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。
- Mac OS X のとき
  Finder で直接 [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[Serato DJ: ソフトウェア マニュアルをダウンロードする (PDF ファイル)] を選んでから [開始] をクリックする

3「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」が表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[**終了**] をクリックしてください。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SX] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

[**サポート情報**] が表示されます。

5 Serato DJ のダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJ のダウンロードページが表示されます。

6「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

7 ダウンロードページの右側にある「More Downloads」の中から「Serato DJ ソフトウェアマニュアル x.x」をクリックしてください

Serato DJ のソフトウェアマニュアルのダウンロードが始まります。

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
Serato DJ ソフトウェア以外の DJ ソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときは、ユーティリティ設定にて Serato DJ 以外のソフトウェアを使う設定に変更してください。また、DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。

- 詳しくはお使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDI メッセージについて

本機の MIDI メッセージについては、「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDI メッセージ一覧」は下記の URL より入手できます。
  http://pioneerdj.com/support/

ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。
- はじめに 31ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

動作環境

対応 OS		
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○[1]
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○[1]
Windows® XP Home Edition/Professional (SP2 以降)	32 ビット版	○

[1] 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サポートサイトを参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

インストール手順について

- 操作手順は「インストール手順 (Windows)」を参照してください。

❖ ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様とパイオニア株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。
本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

(使用許諾)
本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル･コンピュータにインストールして使用することができます。

(制限事項)
お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース･エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)
本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)
本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うことも保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)
当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失･毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(準拠法)
本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみ適用されます。

修理に関するご質問、ご相談

「ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド」の裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (別添)

保証書は必ず「販売店名･購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 28ページ の「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ コントローラー
- 型番：DDJ-SX
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。
K041_A1_Ja

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OS、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel および Intel Core は、米国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- Serato DJ、Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro は、Serato 社の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送·衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

©2012 パイオニア株式会社
禁無断転載
パイオニア株式会社
〒 212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号
<DRJ1015-C>